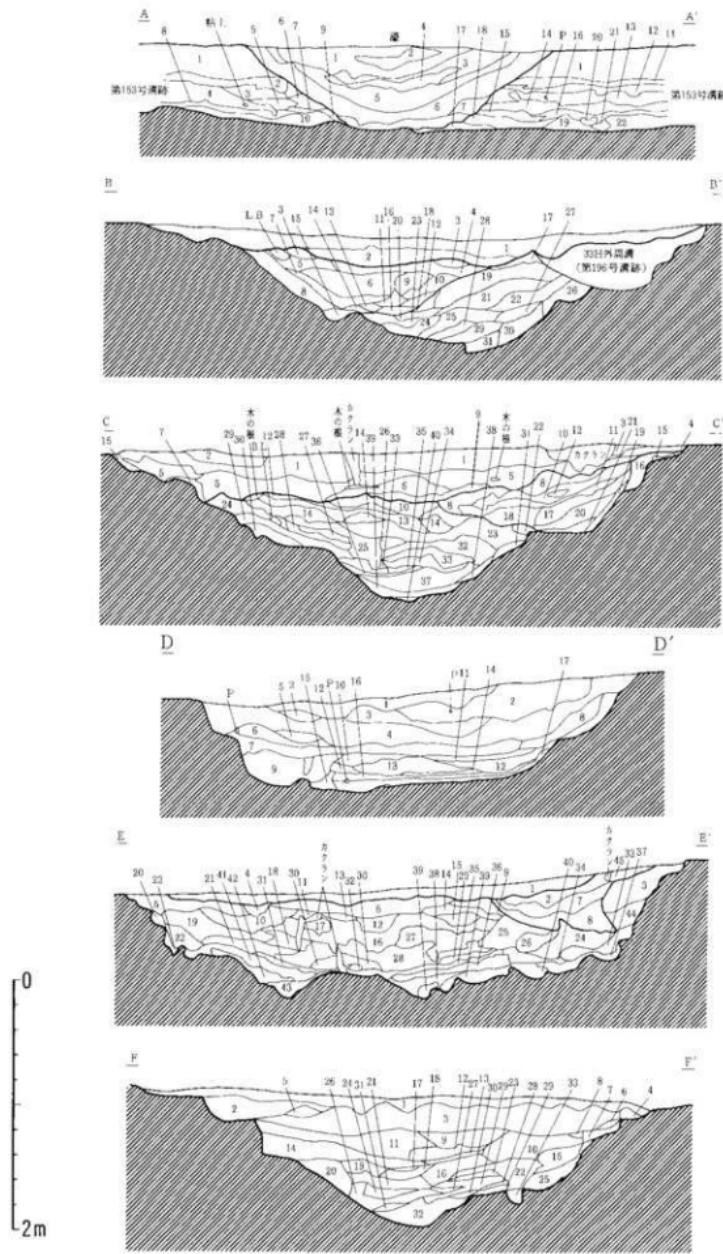


第V-6-(1)-1図 環境および環境内地区検出構造配置図



第V-6-(1)-2図 環塗(第120号溝)セクション

120題 (A-A')

第1刷	深褐色土	10YR 2/3
第2刷	深褐色带土	10YR 2/2
第3刷	深褐色土	10YR 2/2
第4刷	深褐色土	10YR 2/3
第5刷	深褐色土	10YR 2/3
第6刷	深褐色土	10YR 2/3
第7刷	深褐色土	10YR 2/1
第8刷	深褐色土	10YR 2/2
第9刷	深褐色土	10YR 2/2
第10刷	深褐色土	10YR 2/2

152 $\overline{A} - A'$

第1番	栗色土。	H0YR2/1	L.B.(小), ローム粒微量。
第2番	栗褐色土。	H0YR2/2	砂少量, 砂中量, L.B., ローム粒微量。
第3番	栗褐色土。	H0YR2/3	少量, 砂中量, L.B., ローム粒微量。
第4番	栗褐色土。	H0YR2/4	粘土, 粘土-ローム, 粘土-少量。
第5番	栗褐色土。	H0YR3/1	L.B., ローム粒微量。
第6番	にせい黄褐色土。	H0YR3/2	L.B., ローム粒中量。
第7番	栗褐色土。	H0YR3/3	粘土, ローム粒微量。
第8番	栗褐色土。	H0YR3/4	粘土, L.B.微量。
第9番	栗褐色土。	H0YR4/1	砂少量, ローム粒微量。
第10番	栗褐色土。	H0YR4/2	砂中量, 砂少量。
第11番	栗褐色土。	H0YR4/3	砂中量, 砂中量, L.B., ローム粒微量。
第12番	栗褐色土。	H0YR4/4	砂中量, 砂中量, 少量。
第13番	栗褐色土。	H0YR5/1	砂中量, 砂中量, L.B., ローム粒微量。
第14番	栗褐色土。	H0YR5/2	砂中量, 砂中量, 少量。
第15番	栗褐色土。	H0YR5/3	砂中量, 砂中量, 少量。
第16番	にせい黄褐色土。	H0YR5/4	砂中量, 小量。
第17番	栗褐色土。	H0YR6/1	砂中量, 砂中量, 少量。
第18番	栗褐色土。	H0YR6/2	砂中量, 砂中量, 少量。
第19番	栗褐色土。	H0YR6/3	砂中量, 砂中量, 少量。
第20番	栗褐色土。	H0YR6/4	砂中量, 砂中量, 少量。
第21番	栗褐色土。	H0YR7/1	砂中量, 砂中量, 少量。
第22番	栗褐色土。	H0YR7/2	砂中量, 砂中量, 少量。
第23番	栗褐色土。	H0YR7/3	砂中量, 砂中量, 少量。
第24番	栗褐色土。	H0YR7/4	砂中量, 砂中量, 少量。
第25番	栗褐色土。	H0YR8/1	砂中量, 砂中量, 少量。
第26番	栗褐色土。	H0YR8/2	砂中量, 砂中量, 少量。
第27番	栗褐色土。	H0YR8/3	砂中量, 砂中量, 少量。
第28番	栗褐色土。	H0YR8/4	砂中量, 砂中量, 少量。

120集 (三一三)

第1種	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第2種	暗褐色土	10YR3/3	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第3種	褐色土	10YR4/3	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第4種	灰褐色土	10YR4/2	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第5種	暗褐色土	10YR4/2	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第6種	にいよい 黒褐色土	10YR4/3	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第7種	暗褐色土	10YR4/3	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第8種	暗褐色土	10YR2/2	腐化物。ローム (φ = 1~5mm) 小層
第9種	褐色土	10YR4/6	腐化物多量。ローム (φ = 1~10mm) 少量
第10種	黑色土	10YR2/1	腐化物多量。ローム (φ = 1~5mm) 少量
第11種	黒褐色土	10YR5/6	腐化物多量。ローム (φ = 1~5mm) 少量
第12種	褐色土	10YR4/2	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 小層
第13種	褐色土	10YR4/2	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第14種	褐色土	10YR4/2	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第15種	暗褐色土	10YR2/2	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第16種	にいよい 黑褐色土	10YR4/4	ローム (φ = 1~5mm) 多量。腐化物少
第17種	暗褐色土	10YR3/4	ローム (φ = 1~5mm) 多量。腐化物少
第18種	褐色土	10YR4/4	ローム (φ = 1~5mm) 中層。腐化物少
第19種	黒褐色土	10YR5/8	ローム (φ = 1~5mm) 多量。腐化物少
第20種	褐色土	10YR4/2	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第21種	褐色土	10YR4/3	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第22種	褐色土	10YR4/3	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第23種	暗褐色土	10YR4/4	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第24種	暗褐色土	10YR4/4	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第25種	暗褐色土	10YR4/2	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第26種	灰褐色土	10YR4/2	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 多量
第27種	にいよい 黑褐色土	10YR3/5	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 少量
第28種	にいよい 黑褐色土	10YR4/3	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 少量
第29種	にいよい 黑褐色土	10YR4/3	泥炭化。ローム (φ = 1~5mm) 少量
第30種	褐色土	10YR4/4	泥炭化。ローム (φ = 1~10mm) 多量。腐化物少
第31種	褐色土	10YR4/4	泥炭化。ローム (φ = 1~10mm) 多量。腐化物少

120 $\text{m} (\text{C-C})$

第1番	黒褐色土	10YR2/2	0-10cm: 深褐色、L.R.(約10mm) 植被量。
第2番	黒褐色土	10YR2/2	0-10cm: 少量。
第3番	黒褐色土	10YR2/2	0-10cm: 深褐色、L.BD(約10mm) 植被量。
第4番	深褐色土	10YR2/2	0-10cm: L.(約1-5mm) 中量。黒土苔植物量。
第5番	黒褐色土	10YR2/2	0-10cm: 少量。
第6番	暗褐色土	10YH3/2	0-10cm: 少量。糞化物微量。白粘土。(約1-5mm) 根微量。
第7番	黒褐色土	10YH2/2	0-10cm: 少量。L.H. 少量。
第8番	褐色土	10YH4/2	0-10cm: 少量。L.(約1-5mm) 中量。糞化物微量。
第9番	灰褐色褐色土	10YR4/2	0-10cm: 黄褐色、L.BD(約10mm) 少量。白粘土。(約1-5mm) 根微量。
第10番	暗褐色土	10YH3/2	0-10cm: 中量。白粘土(約5mm) 少量。糞化物微量。黑土苔植物量。
第11番	にいし黄褐色土	10YR4/3	0-10cm: 少量。糞化物微量。白粘土(約1-5mm) 植被量。
第12番	暗褐色土	10YH2/3	0-10cm: 少量。糞化物微量。白粘土。(約1-5mm) L.BD(約10mm) 植被量。
第13番	にいし黄褐色土	10YR4/3	0-10cm: 少量。糞化物微量。白粘土。(約1-5mm) L.BD(約10mm) 植被量。
第14番	黒褐色土	10YR2/2	0-10cm: 中量。糞化物、糞便量。性土。L.H.(約10mm) 植被量。
第15番	暗褐色土	10YR2/2	0-10cm: 多量。糞化物、L.BD(約15-20mm) 中量。
第16番	暗褐色土	10YH3/2	0-10cm: 多量。糞化物微量。白粘土。(約5mm) 植被量。
第17番	にいし黄褐色土	10YR3/3	0-10cm: 多量。L.BD(約20mm) 中量。糞化物微量。糞便土。
第18番	暗褐色土	10YR3/3	0-10cm: 略少。糞化物微量。糞便土。(約10mm) 植被量。
第19番	暗褐色土	10YH3/3	0-10cm: 略少。糞化物微量。糞便土。(約10mm) L.BD(約10mm) 植被量。
第20番	にいし黄褐色土	10YR4/3	0-10cm: 略少。糞化物微量。糞便土。(約10mm) L.BD(約10mm) 植被量。
第21番	褐色土	10YR4/4	0-10cm: 略少。糞化物微量。糞便土。(約10-15mm) 植被量。
第22番	にいし黄褐色土	10YH4/3	0-10cm: 略少。糞化物微量。糞便土。(約10-15mm) 植被量。
第23番	にいし黄褐色土	10YH4/3	0-10cm: 略少。糞化物微量。糞便土。(約10-15mm) 植被量。

第24番	暗赤土。	10YR4/3	中量。白粘土 ($\phi 15\sim30cm$) 少量。液化度微弱。
第25番	にふい 黄褐色土	10YR4/3	ローム多量。L.B.D. ($\phi 30cm$) 極強度。
第26番	黒褐色土。	10YR2/3	ローム少量。液化度微弱。
第27番	暗褐色土。	10YR4/3	ローム少量。青土、青灰土。液化度微弱。
第28番	にふい 黄褐色土。	10YR4/3	ローム中量。液化度微弱。
第29番	暗褐色土。	10YR2/3	ローム中量。液化度微弱。
第30番	暗褐色土。	10YR2/3	ローム少量。液化度微弱。

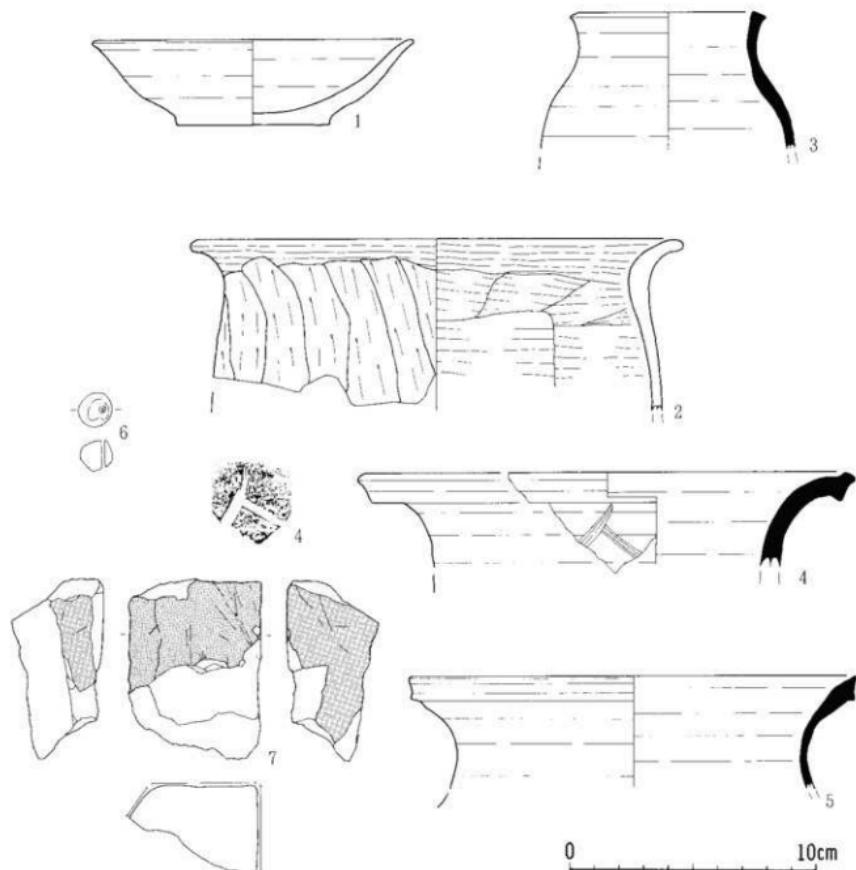
第31番	暗褐色土	10YR3/8	少量。
第32番	にほい黄褐色土	10YR4/3	灰化度高、ローム粒中量、粘土（ ϕ_5 mm）少量。
第33番	暗褐色土	10YH3/2	中層、L.B.（ $\phi 20$ mm）少量、白粘土（ $\phi 5$ ~75mm）、 $\phi 1-2$ mm中量、砂微量。
第34番	黒褐色土	10VH3/1	中層、砂微量、白粘土（ $\phi 5$ ~60mm）、 $\phi 1-2$ mm中量、粘土（ $\phi 10$ mm）、 $\phi 1-2$ mm少量。
第35番	褐褐色土	10YH3/2	粘土（ $\phi 1$ ~40mm）少量。
第36番	暗褐色土	10YR3/2	中層、砂微量。
第37番	暗褐色土	10YH3/2	中層、砂（ $\phi 1$ ~35mm）少量。
第38番	暗褐色土	10YH3/2	粘土（ $\phi 5$ ~10mm）中量、砂微量。灰化度高。
第39番	暗褐色土	10YH3/2	中層、砂微量。
第40番	暗褐色土	10YR3/2	砂中量、 \square △=較少量。
<hr/> 120番 (D-D')			
第1番	褐色土	10YR2/1	□△=較少量。
第2番	暗褐色土	10YH2/2	壤土、灰化度高、ローム粒微量。
第3番	褐褐色土	10YR2/3	△=較少量、壤土、灰化度微量。
第4番	黑褐色土	10YH2/2	△=較少量、壤土、灰化度微量。
第5番	褐褐色土	10YR2/3	△=較少量、壤土、灰化度微量。
第6番	暗褐色土	10YH2/2	△=較少量、壤土、灰化度微量。
第7番	暗褐色土	10YR2/3	灰化度微量。
第8番	褐褐色土	10YR2/1	△=較少量、壤土和粘土微量。
第9番	暗褐色土	10YR3/6	△△=無量。
第10番	暗褐色土	10YH3/2	L.B. ($\phi 15$ ~30mm)、ローム粒中量。
第11番	黑色土	10YR1/7	△△=無量。
第12番	暗褐色土	10YR2/3	壤土土、灰化度高、ローム粒微量。
第13番	暗褐色土	10YR2/3	△△=較少量、壤土土、灰化度微量。
第14番	黑色土	10YR3/7	△△=無量。
第15番	暗褐色土	10YR1/2	△△=無量。
第16番	黑色土	10YR1/7	△△=無量。
第17番	暗褐色土	10YR3/2	砂質土。

120 黒 (E-E')

第1層	黒褐色土	10YR2/2	燒土粒、炭化物、ローム粒極微量。
第2層	黒褐色土	10YR2/3	燒土粒、炭化物極微量。ローム 粒 (φ 1~6 mm) 少量。砂土粒微量。
第3層	黒褐色土	10YR2/3	ローム粒 (φ 1~2mm) 少量。土上粒微量。
第4層	黒褐色土	10YR2/3	炭化物、ローム粒微量。
第5層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 2~3mm) 少量。
第6層	黒褐色土	10YR2/3	砂質土上、ローム (φ 2~5mm) 少量。 炭化物 (φ 1~3mm) 微量。
第7層	黒褐色土	10YR3/1	ローム (φ 1~5mm) 少量。炭化物、 粘土粒 (φ 1~7mm) 微量。
第8層	黒褐色土	10YR2/3	砂質土上、ローム (φ 2~3mm) 少量。 炭化物 (φ 1~5mm) 微量。
第9層	黒褐色土	10YR3/3	ローム (φ 1~3mm) 少量。炭化物
第10層	黒褐色土	10YR3/2	ローム (φ 1~3mm) 少量。燒土 粒 (φ 1~3mm) 少量。燒土
第11層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~12mm) 少量。炭化物 極微量。
第12層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 2~3mm) 少量。
第13層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~5mm) 少量。燒土
第14層	黒褐色土	10YR3/2	ローム (φ 1~7mm) 中量。燒土粒極量
第15層	黒褐色土	10YR2/2	ローム (φ 1~15mm) 中量。炭化物微量。
第16層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~10mm) 少量。燒土
第17層	黒褐色土	10YR2/2	ローム (φ 1~15mm) 少量。炭化物
第18層	黒褐色土	10YR2/2	ローム (φ 2~3mm) 稍微量。
第19層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~7mm) 少量。炭化物極微量
第20層	にじく黄褐色土	10YR4/3	ローム粒微量。
第21層	黒褐色土	10YR2/2	ローム (φ 1~5mm) 少量。炭化物微量。
第22層	黒褐色土	10YH2/2	ローム (φ 1~10mm) 少量。
第23層	黒褐色土	10YR4/4	ローム (φ 1~40mm) 中量。燒土
第24層	黒褐色土	10YH3/3	ローム (φ 1~10mm) 中量。炭化物微量。
第25層	黒褐色土	10YH2/3	ローム (φ 1~5mm) 少量。炭化物
第26層	黒褐色土	10YH2/2	ローム (φ 1~50mm) 多量。
第27層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~40mm) 多量。粘土 (φ 1~5mm) 少量。
第28層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~40mm) 中量。炭化物 (φ 1~3mm) 少量。粘土 稍微量。
第29層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~3mm) 少量。炭化物、燒 土粒微量。
第30層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~10mm) 少量。
第31層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~8mm) 少量。炭化物極微 量。
第32層	黒褐色土	10YR3/1	ローム粒微量。
第33層	黒褐色土	10YR3/2	ローム (φ 1~5mm) 少量。
第34層	にじく黄褐色土	10YH4/3	ローム (φ 1~15mm) 中量。
第35層	黒褐色土	10YR2/2	ローム (φ 1~10mm) 少量。炭化物微量。
第36層	黒褐色土	10YH3/2	ローム (φ 1~5mm) 少量。燒土
第37層	褐色土	10YH4/4	ローム (φ 1~40mm) 多量。燒土 (φ 10~30mm) 少量。
第38層	黒褐色土	10YR3/2	ローム (φ 1~5mm) 少量。炭化物少量。
第39層	にじく黄褐色土	10YH4/3	砂質土上、ローム (φ 1~10mm) 中量。
第40層	黒褐色土	10YH3/1	ローム (φ 1~10mm) 少量。
第41層	黒褐色土	10YH3/3	ローム (φ 1~20mm) 多量。
第42層	にじく黄褐色土	10YR4/3	砂質土上、ローム (φ 1~3mm) 微量。炭化物
第43層	黒褐色土	10YR3/4	ローム (φ 1~8mm) 微量。
第44層	黒褐色土	10YR2/3	ローム (φ 1~5mm) 少量。
第45層	黒褐色土	10YR2/3	ローム粒微量。

120 黒 (F-F')

第1層	黒色土	10YH1.7/1	ローム粒微量。
第2層	黒褐色土	10YR2/2	ローム粒微量。
第3層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第4層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第5層	黒褐色土	10YR2/3	ローム粒微量。
第6層	黒褐色土	10YR2/3	L.H. ローム粒微量。
第7層	黒褐色土	10YR2/3	L.H. ローム粒微量。
第8層	黒褐色土	10YR2/3	L.H. ローム粒微量。
第9層	黒褐色土	10YR2/3	ローム粒微量。
第10層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第11層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第12層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第13層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第14層	黒褐色土	10YR2/2	ローム粒微量。
第15層	黒褐色土	10YR2/2	燒土粒、L.H. ローム粒微量。
第16層	黒褐色土	10YR2/3	L.H. ローム粒微量。
第17層	黒色土	10YH2/2	ローム粒微量。
第18層	黒褐色土	10YR2/3	褐褐色、明褐色土中量、ローム少量。
第19層	黒褐色土	10YR2/3	L.H. ローム粒微量。
第20層	黒褐色土	10YR2/3	ローム、褐褐色少量、眞褐色中量。
第21層	黒褐色土	10YR2/2	L.H. ローム粒微量。
第22層	黒褐色土	10YR2/2	ローム粒微量。
第23層	にじく黄褐色土	10YR7/4	ローム粒微量。
第24層	黒褐色土	10YR2/2	黒褐色、褐褐色、黄褐色少量。
第25層	黒褐色土	10YR3/1	明褐色土少量。
第26層	黒褐色土	10YR2/3	黒褐色土、ローム粒微量。
第27層	黒褐色土	10YH1/1	褐褐色少量。
第28層	黒褐色土	10YH1/2	褐褐色少量。
第29層	明褐色土	10YH1/6	褐褐色少量、眞褐色土微量。
第30層	黒褐色土	10YR2/2	ローム粒微量。
第31層	黒褐色土	10YH3/1	ローム粒微量。
第32層	黒褐色土	10YR4/1	燒土粒、明褐色、褐褐色土、炭化物、 L.H. ローム粒微量。
第33層	黒褐色土	10YH2/2	L.H. ローム粒微量。



遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値(cm)	外 面 調査	内 面 調査	底面調査	分 類	備 考	写 真 番 号
1	土器	环	出土位置 裏面	直径(13.0) 3.5 (6.2)	ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ ロクロ ロクロ	回転粘土切り		
2	×	甕	“(20.0) (6.9)		ヨコテ ヘラテ	ヨコテ ヘラテ				
3	須恵器	鉢	フタ上 (8.0) (5.5)		ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ			動土分析73	
4	×	須恵器	“(20.2) (3.7)		× ×	× ×			ヘラテ記入 自然粘付着	
5	×	×	“(18.0) (4.5)		× ×	× ×			自然粘付着	

遺物 番号	種類	出土地点	長(cm) 幅(cm) 高さ(cm) 厚さ(cm)	特 徴	備 考	熱理%
鉢	鍋津	SD120溝跡 残底		3.1 翻着平付着	提示なし	04
6	上製品	鍋津 SD120溝跡 (J-11) 紅茶	14.0 13.5 13.0	2.0 黒色の焼成、赤茶の斑状、焼成面片面穿孔	堅硬	07
7	石製品	鍋津 SD120溝跡 (Y-15) 石子	72.0 54.0 32.0 85.7	堅硬緻密な火成岩、焼成3面 第V-7-(5)-1図-3と同、母石か	板状模様あり	03

第V-6-(1)-3図 環濠(120号溝)出土遺物

(2) 建物跡

環濠内地区からは9軒（拡張している建物跡は2軒とする）の建物跡が検出された。

竪穴部分が検出されなかったものについても、外周溝と考えられる平面U字形の溝跡とカマドとの位置関係より推定して建物跡として認定したものもある（40H、41H）。これは、環濠内地区全体がかなり削平を受けている（31H南北セクションA-A'参照）ことを考慮して、積極的に判断した結果である。

竪穴部

カマドは、ほとんどが東側に位置する（29Hは不明）が、31Hと42Hは南側に位置する（31Hは42Hを拡張したものである）。壁高は削平のために不明なものが多い。

外周溝

9軒のうち、8軒の建物跡（22H、26H、29H、31H、33H、40H、41H、42H）には外周溝が付随し、30Hだけは付随しない。22H、26H、29H、31Hの4軒の外周溝は一部が途切れる構造のものであるが、大規模な削平の結果である可能性もある。

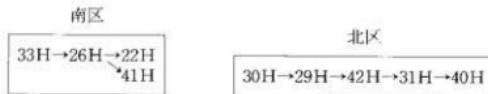
掘立柱部

22H、26H、31H、40H、42Hの5軒には掘立柱建物跡が付随する。

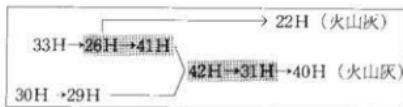
建物跡の重複関係

建物跡のはほとんどは重複関係にあり、環濠外地区と比較しても、非常に重複度が高い。建物跡は、環濠内地区的ほぼ中央、グリッドで言うところの12ラインを境にして南側と北側に集中する（第V-6-（1）-1図）。ここでは、環濠内地区をグリッドの12ラインで区切って南区、北区と称し、記述する。

南区では22H、26H、33H、41Hの4軒の建物跡が重複し、北区では、29H、30H、31H、40H、42Hの5軒の建物跡が重複する。新旧関係は下記の通りである。



これら南区、北区の重複する建物跡の前後関係に、火山灰（白頭山苦小牧火山灰（B-Tm））を介在させて以下に模式的に表す。



これら9軒の建物跡の変遷については、第VII章第1節(2)に述べている。

第22号建物跡観察一覧表

位 置	J-10.I-8~11.H-8~10	図版番号	第V-6-(2)-1~5図	写真図版番号	21-7、8
-----	--------------------	------	---------------	--------	--------

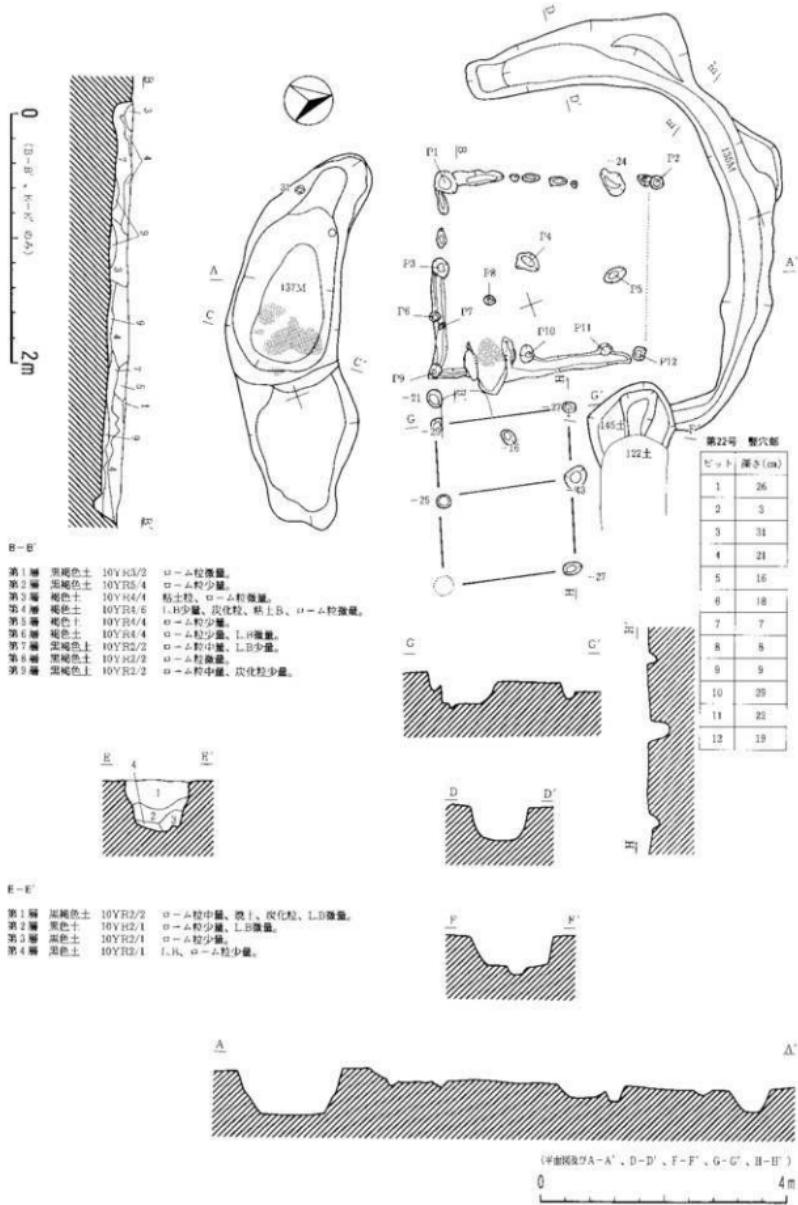
重複関係	122±>22H>26H>33H 22H>190M
------	------------------------------

壁 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁
	壁 長 (m)	3.34	3.43	3.04
	壁 高 (cm)	—	—	—
	周 溝 幅 (cm)	26	23	20
平面形	周 溝 深さ (cm)	20	16	14
	長方形	床面積	約10.4m ²	主軸方位 N-105°-E
	検出されなかった。			
	東壁、南壁、西壁に検出された。西壁はごく一部。			
穴 部	ビット	12個検出された。 土柱穴は不明。		
	かまとど	遺存状態 良好	位置 東壁の南寄り	
	堆積土	煙道部は良好な残存状態を示し、天井部は壊れているものの、両ソテともしっかりしている。 火床面、煙道部底面、左ソテ付近の柱穴 (P ₁₀) 上に土師器が出土した。 覆土は19層に分層された。		
	出土遺物	9層に分層された。褐色土を主体とし、ローム粒子を混入する。 人為堆積と思われる。		
附屬施設	縫隙	縫隙部 - 土師器环・甕		
	柱	カマド - 不明鉄製品・土師器环・甕		
	小 結	掘立柱建物跡 1棟	外周溝 (137・135M)	土坑 (145上)
		北西部の削平は激しいが、環濠内南地区の建物跡の中で最も遺存状態が良好である。		

規 模	桁行 2間 (總長2.6m-北) × 梁間 1間 (總長2.2m-西)
平面形式	長方形を呈す東西棟建物跡である。南東端の1基は検出されなかった。
柱穴	径 25cm~40cmの円形、楕円形の振り方である。
柱間寸法	深さ 16cm~43cm
出土遺物	桁行 - 1.6m (5尺3寸) 梁間 - 2.2m (7尺3寸)
小 結	4層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒、炭化物粒、燒土粒を混入する。 D-D'部分には火山灰が検出された。

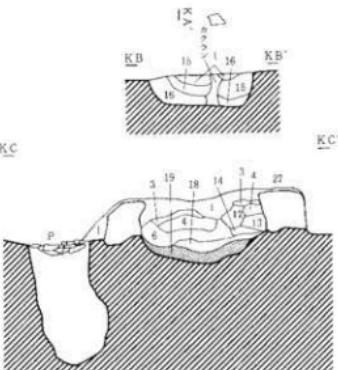
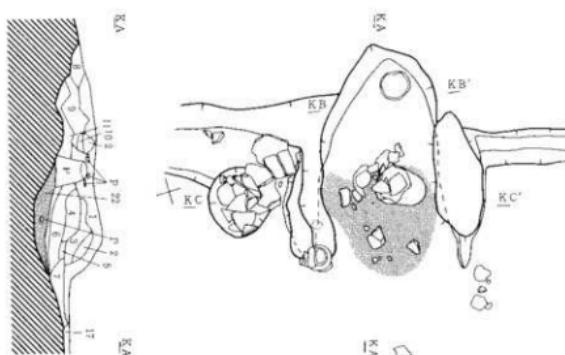
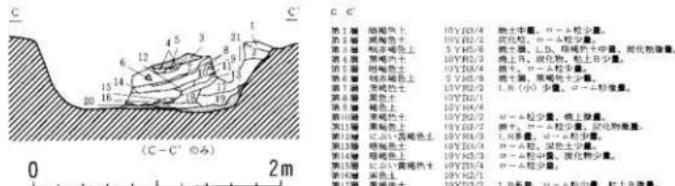
規 模	長 さ 9.96m	上端幅 128cm	断面形 半梢円形
	深 さ 52cm	下端幅 64cm	傾 斜 西→東
4層に分層された。黒色土を主体とし、ローム粒、炭化物粒、燒土粒を混入する。			
D-D'部分には火山灰が検出された。			
なし			
137Mとは意識的につながらないようにしていると思われる。			

規 模	長 さ 6.52m	上端幅 184cm	断面形 逆台形
	深 さ 58cm	下端幅 104cm	傾 斜 西→中央(最深部)→東
21層に分層された。褐色土を主体とし、ローム粒子を混入する。			
自然堆積 - 人為堆積と思われる。			
堆積土			
出土遺物			
135Mとは意識的につながらないようにしていると思われる。			

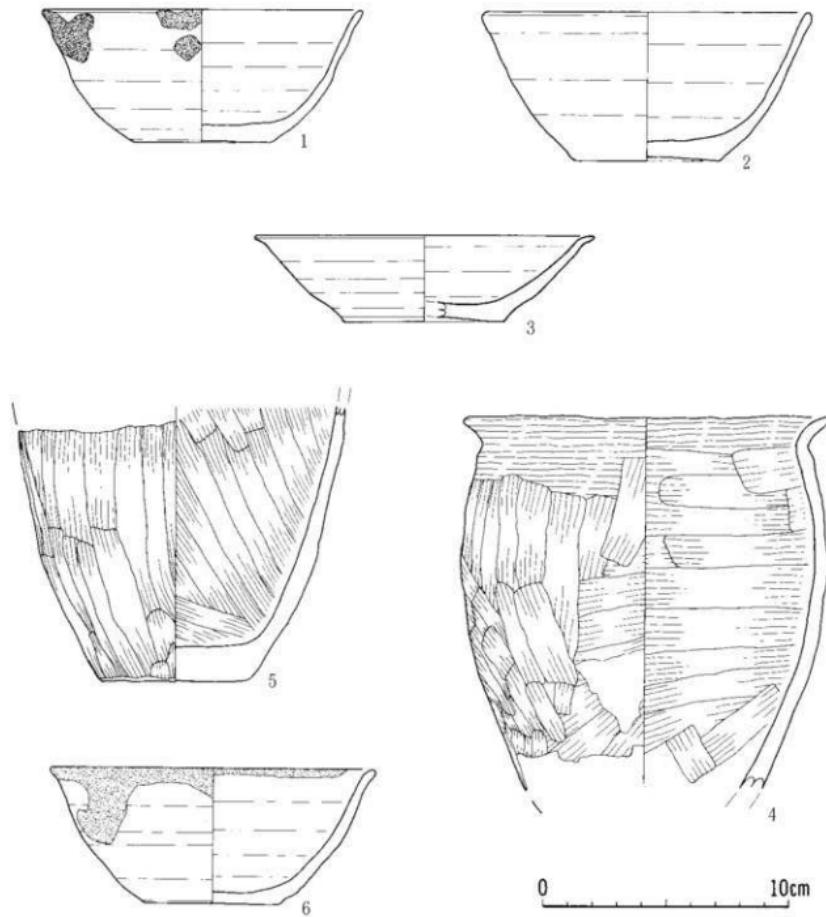


第V-6-(2)-1図 第22号建物跡(1)

土 坑 ・ 堆 積 土	平面形	不整円	壁	緩やかに立ち上がる	底面	溝状の窪みあり
	規 模	長 軸 124cm	短 軸 84cm		深 さ 60cm	
		セクション図は作成しなかった。				
		人為堆積と考えられる。				
	出上遺物	なし				
小 結	122土に切られる。135Mに接続する。					

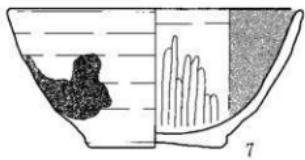


第V-6-(2)-2図 第22号建物跡(2)

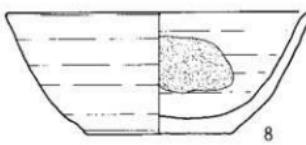


遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値(cm)	外 周 長	内 周 長	厚 細 度	底面形	分 類	備 考	写真 番号
1	土器	罐	カマツ フク上	13.0 9.4 5.4	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ハクリ		
2	"	フクチ		13.4 6.0 6.0	"	"	"	"		二次焼成	
3	"	カマツ	カマツ フク上	13.8 (14.9) (15.0)	3.4 6.6 6.0	"	"	"		豆形に近い。	
4	"	便	フク上		ヨコナギヘラナギ	ヘラナギ	ヨコナギ	ヘラナギヘラナギ			
5	"	カマツ		(11.1) (8.6)		"	"	"		二次加熱	
6	"	环	カマツ フク上	13.1 9.4	5.6 ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	田舎系切刃	一次加熱、次々

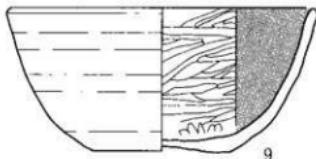
第V-6-(2)-3図 第22号建物出土遺物(1)



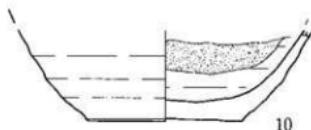
7



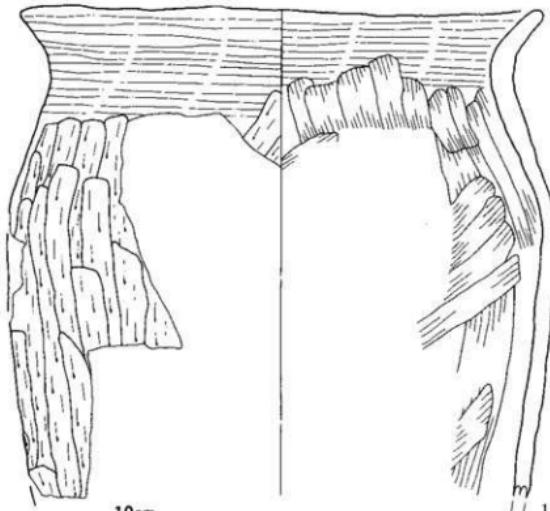
8



9



10



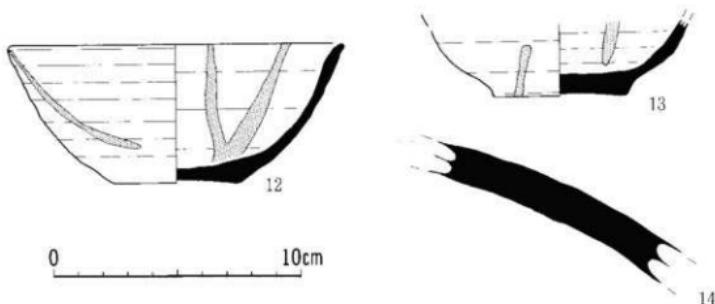
0

10cm

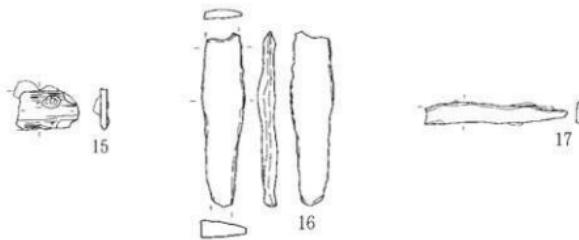
11

遺物 番号	種類	基標	出土位置	計測値 (cm)			外面調整			内面調整			分類	備考	写真 番号
				口径	高さ	底径	口縁部	体部上半	体部下半	口縁部	体部上半	体部下半			
7	土器部	球	137M フク上	5.6	5.4	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	二次焼成、ハクリ 内面黒色處理		
8	*	*	12.3	4.9	5.9	*	*	*	*	ロクロ	ロクロ	*	一次焼成、スス		
9	*	*	12.5	5.6	5.5	*	*	*	*	ヘラシガキ	ヘラシガキ	ヘラシガキ	*	内面黒色處理	
10	*	*	12.5	(3.6)	6.3								油跡	油跡	
11	*	實	(21.1)	19.6	ヨコナメヘラケヅ		ヨコナメヘラケヅ		ヨコナメヘラケヅ				化粧粘土		

第V-6-(2)-4図 第22号建物跡出土遺物(2)



遺物 番号	種類	表面	出土位置	計量値(cm)			外面調整			内面調整			分類	備考	石蔵 番号
				口径	基高	式径	口縁部	体部上半	体部下半	口縁部	体部上半	体部下半			
12	陶器器	球	22H 7号上	(13.6)	5.6	5.2	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	文ダスモ直 黒みがかった茶褐色		
13	"	"	"	(3.0)	(3.4)		"	"	"	"	"	"	大ダスモ直		
14	"	大甕	"	(5.2)			格子状 叩き目			当て具役 (?)			物土分析-68		



遺物 番号	種類	出土位置	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	特 徴	備考	標石 付 記	整理 用		
15	鉄製品	不明	22日 カマド	覆土	27.0	19.0	5.5	3.2	手引金か留金具か 刃が装着されたまま残 在。	木製部残存	×	06
16	"	刀子	22H SD137	溝跡	70.0	19.0	9.0	11.1	茎部・刃部欠損 闇がみられない		○	19
17	"	刀子か	22H SD137	溝跡	58.0	9.0	2.0	3.8	刃部残存		△	05

第V-6-(2)-5図 第22号建物跡出土遺物(3)

第26号建物跡観察一覧表

位 置 I-9~II.H-9~II.G-8~II.F-9~II 図版番号 第V-6-(2)-6~8図 写真図版番号 22-1、2

重複関係 122+>22H>26H>33H
42H・31H>41H>26H

壁 法 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁		
	壁 長 (m)	5.70	5.58	4.96		
	壁 高 (cm)	—	24	—		
	周 溝 幅 (cm)	20	15	20		
溝 深 さ (cm)	16	34	24	20		
平面形	ほぼ正方形		床面積 約26.6m ²	主軸方位 N-103°-E		
壁	西壁に検出された。		床	ほぼ平坦		
周 壁	北壁のカマド～隅柱の部分以外は一巡する。					
ビ ッ ト	12個検出された。 土柱穴は、P ₁ ～P ₄ と思われる。					
か ま ど	遺存状態 不良	位 置	東壁の南寄りと思われる。			
堆 積 土	火床面のみ検出された。					
部	14層に分層された。黒褐色土を主体とし、炭化材、炭化物粒、焼土を混入する。 焼土は床面に接する。人為堆積と思われる。					
出土遺物	上階器坏 1点 上階器窓 1点					
附属施設	掘立柱建物跡 1棟	外周溝 (134.172-a.b.187M) 土坑 (75.148.202+)				
小 結	焼失家屋である。41Hの構築により41H外周溝より内側の部分には、焼土・炭化材等の焼失家屋に伴うものは検出されなかった。					

掘 立 柱 部	規 模	桁行 2間 (總長3.92m-北) × 梁間2間 (總長4.04m 東)			
	平面形式	ほぼ正方形を呈す建物跡である。			
	柱 穴	径 24cm～48cmの円・楕円形の掘り方である。			
	深 さ	8cm～37cmで、深浅がみられる。			
柱間寸法	桁行 — 3.92m (12尺9寸) 梁間 — 4.04m (13尺3寸)				
出土遺物	なし				
小 結	竪穴部の面積 (26.6m ²) + 掘立柱部の面積 (16.2m ²) = 約42.8m ² (約26疋) 178Mとの新旧は不明。				

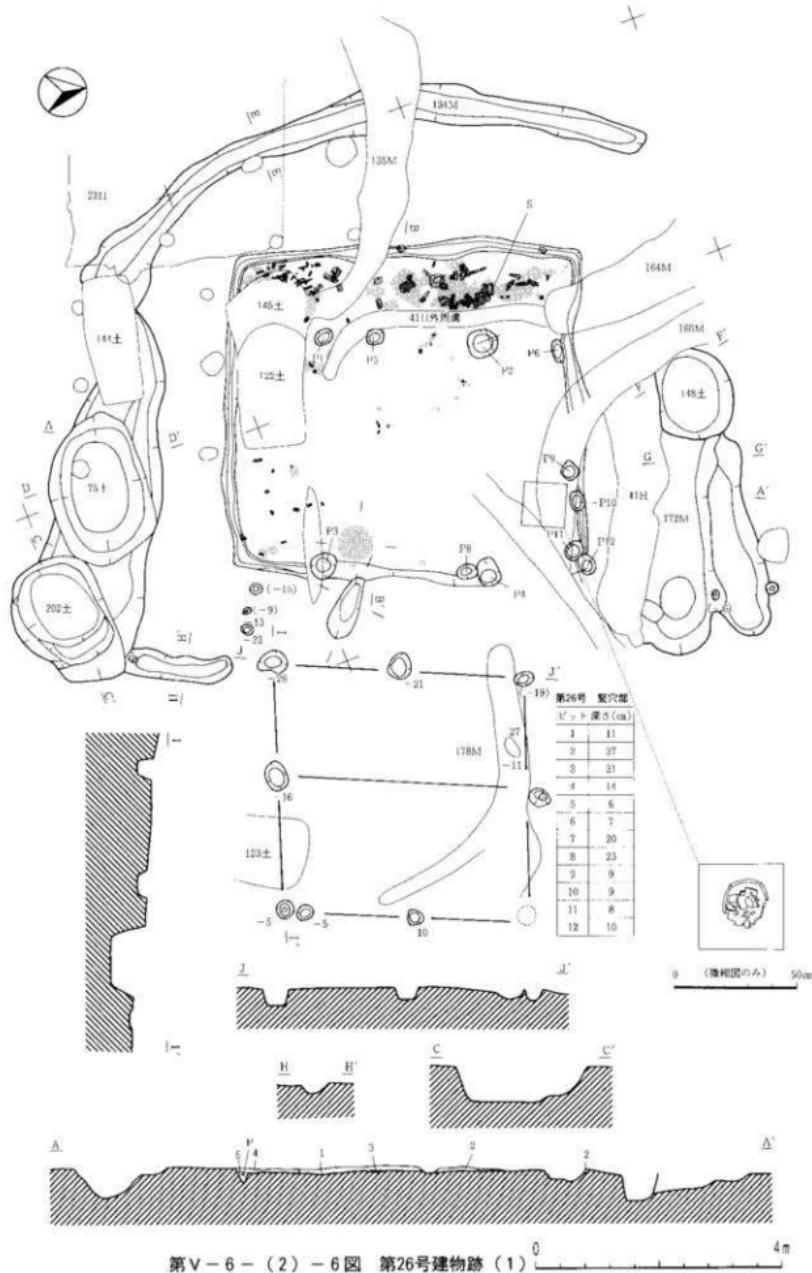
外 周 溝 ・ II M	規 模	長 さ 17.84m	上端幅 44～176cm	断面形 逆台形
	深 さ	24cm	下端幅 16～136cm	傾 斜 南←中央→北
	堆 積 土	3層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒・炭化物を混入する。		
	出土遺物	自然堆積と思われる。		
小 結	なし			

外 周 溝 ・ II M	規 模	長 さ 3.52m	上端幅 南(96)	北(80)cm	断面形 長方形
	深 さ	30cm	下端幅 南(80)	北(64)cm	傾 斜 西→東
	堆 積 土	3層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒・炭化物粒・焼土粒を混入する。			
	出土遺物	自然堆積と思われる。			
小 結	南北2条に分岐する。				

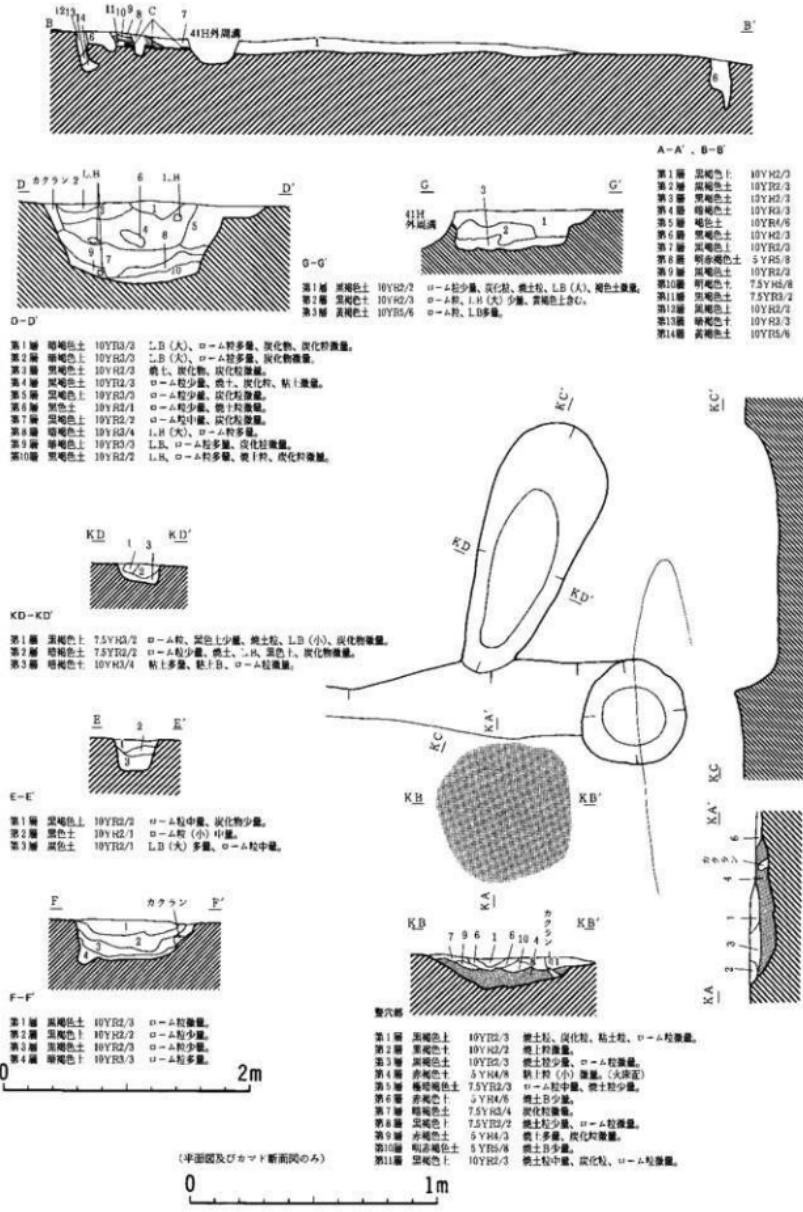
土 坑 ・ 26 上	平面形	不整椭円形	壁	直線的に立ち上がる	底面	平坦
	規模	長軸 224cm	短軸 132cm		深さ	60cm
	堆積土	セクション図は作成しなかった。				
	出土遺物	なし				

上 坑 ・ 75 土	平面形	長椭円形	壁	直線的に立ち上がる	底面	ほぼ平坦
	規模	長軸 248cm	短軸 160cm		深さ	66cm
	堆積土	10層に分層された。黒褐色土を主体とし、焼土・炭化物・ローム粒を混入する。 人為堆積と思われる。				
	出土遺物	なし				

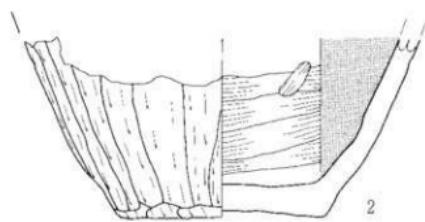
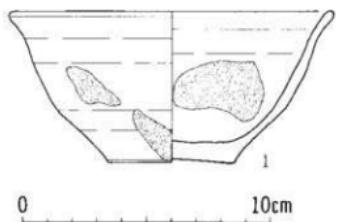
土 坑 ・ 26 上	平面形	円形	壁	直線的に立ち上がる。	底面	ほぼ平坦
	規模	長軸 148cm	短軸 120cm		深さ	38cm
	堆積土	4層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。 人為堆積と思われる。				
	出土遺物	なし				



第V-6-(2)-6図 第26号建物跡(1)



第V-6-(2)-7図 第26号建物跡(2)



遺物 番号	種類	基盤 出土地点	計測値 (cm)			外 周 囲			内面調査			表山彌集	分類	備 考	方西 番号
			口径	高さ	底径	口 縁	壁形	下体部下口	表山彌集	底形态	上口				
1	土器器	環状窓附近	(13.0)	6.1	5.2	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	スヌ				
2	“	窓附近	(7.1)	8.4			ヘラケズリ			ヘラナデ	砂底	内面黒色処理			

第V-6-(2)-8図 第26号建物跡出土遺物(3)

第29号建物跡観察一覧表

位 置	G-12~14, F-12~14	図版番号	第V-6-(2)-9	真図版番号	22-3
-----	------------------	------	------------	-------	------

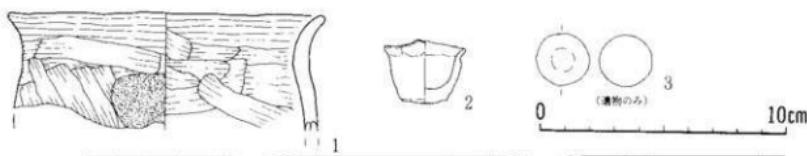
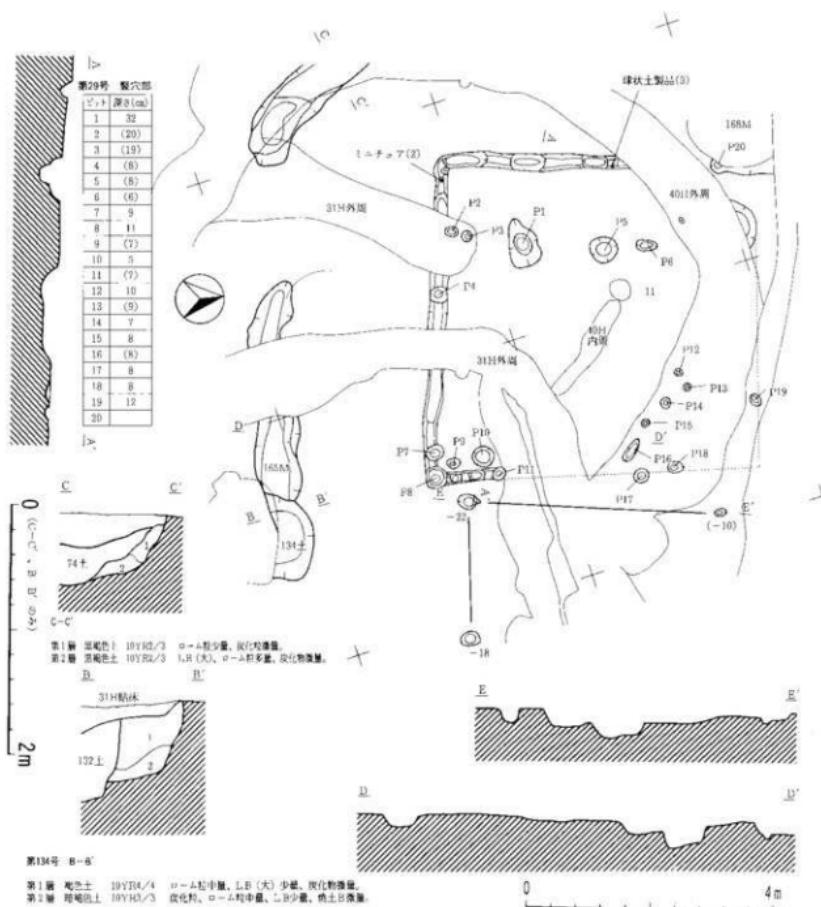
重複関係 40H>31H>41H>29H>30H

堅 法 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁
	壁 長 (m)	(1.13)	(3.18)	5.15
	壁 高 (cm)	—	—	—
	周溝 幅 (cm)	18	26	30
	周溝深さ (cm)	8	16	4
平面形	不明	床面積 約(17.2)m ²	主軸方位	N-100°-E
壁	検出されなかった。		床	平坦である。
周 壁	西、南、東壁の一部が検出された。			
ビ ッ ト	20個検出された。 主柱穴はP ₁ と思われる。			
か ま ど	遺存状態 検出されなかった。	位 置	不明	
	31H外周溝により破壊されたものと思われる。			
堆 積 土	セクション図は作成しなかった。 土層観察では人為堆積と思われる。			
出土遺物	内周溝-土師器鉢 1点 (ミニチュア) 球状土製品 1点			
附属施設	掘立柱建物跡 1棟	外周溝 (165M)	土 坑 (134上)	
小 結				

掘 立 柱 部	規 模	桁行1間 (総長4.80m) × 桁間1間 (総長2.24m)
	平面形式	長方形を呈す東西棟建物跡であると考えられる。
	柱 穴	径 8cm~40cmの橢円形の掘り方である。
	深 さ	8cm~16cm
	柱間寸法	桁行—4.80m (15尺8寸) 梁間—2.24m (7尺4寸)
	出土遺物	なし
	小 結	堅穴部の面積 ((17.2m ²)) + 掘立柱部の面積 (9.0m ²) = 約26.2m ²

外 周 溝 ・ 塗 M	規 模	長 さ 5.60m	上端幅 56~76cm	断面形 逆台形
		深 さ 20cm	下端幅 24~56cm	傾 斜 西→東
	堆 積 土	セクション図は作成しなかった。 人為堆積と思われる。		
	出土遺物	なし。		
	小 結	C-C' の東側に土坑状のくぼみを有し、その部分で途切れる。		

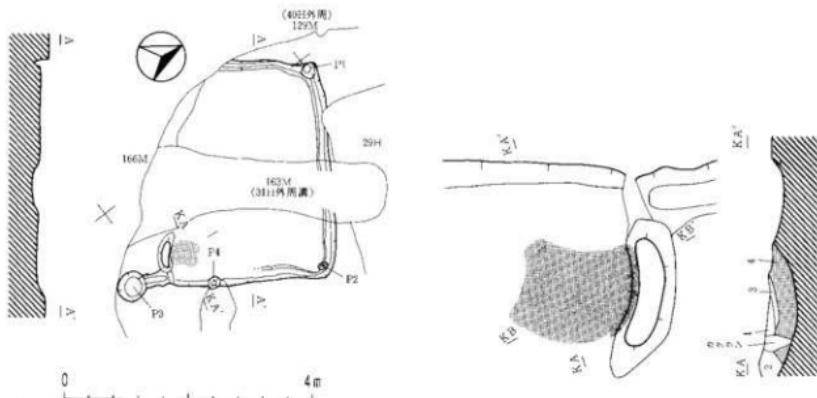
土 坑 ・ 塗 M	平 面 形	不整形	壁	直線的に立ち上がる。	底 面	平坦
	規 模	長 軸 136cm	短 軸 56cm		深 さ 56cm	
	堆 積 土	2層に分層された。褐色土を主体とし、ローム粒・炭化物・焼土を混入する。 人為堆積と思われる。				
	出土遺物	堆積土-土師器 11点				
	小 結	31H貼床下に検出された。134上<132上<31H貼床				



第V-6-(2)-9図 第29号建物跡出土遺物

第30号建物跡観察一覧表

位 置	H-13.G-12~13	図版番号	第V-6-(2)-10	写真図版番号	22-4	
重複関係	40H>31H>29H>30H					
堅 穴 部		東 壁	西 壁	南 壁	北 壁	
	壁 長 (m)	3.45	(1.55)	—	3.15	
	壁 高 (cm)	—	—	—	—	
	周 済 幅 (cm)	22	16	—	18	
	周溝深さ (cm)	10	12	—	15	
	平面形	ほぼ正方形	床面積	約 (8.5) m ²	主軸方位 N-119°-E	
	壁	検出されなかった。		床	平坦	
	周 壁	北壁・東壁・西壁で検出された。西壁はごく一部。				
	ビ ッ ト	4個検出された。 隅柱穴が土柱穴であると思われる。				
	か ま ど	遺存状態 不良	位 置	東壁の南寄りと思われる。		
堆 積 上	石ソデと火床面のみ検出された。					
	セクション図は作成しなかった。					
	土層観察より人為堆積と思われる。					
	出土遺物 なし					
附 属施 設	なし					
小 結	外周溝、掘立柱建物跡とともに付随しない建物跡塗内地区は本建物跡のみである。					

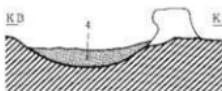


第30号 墓穴地

ビット	深さ (cm)
1	(24)
2	20
3	8
4	(5)

30H カマド

第1層 暗褐色土 10YR5/4 基上に多量、炭化物を含む土質混入。
第2層 褐色土 10YR4/6 地下 B 20%混入。
第3層 にせい黄褐色土 10YR6/4 常常に硬い。火床面。
第4層 明赤褐色土 5YR5/8 硬くしまる。火床面。



0 1m

第V-6-(2)-10図 第30号建物跡

第31号建物跡観察一覧表

位 置	F-11~14.G-11~13.H-11~13	図版番号	第V-6-(2)-11~14	写真図版番号	22-5
-----	-------------------------	------	----------------	--------	------

重複関係 99上>31H>42H>41H>26H>33H

堅 壁 部	法 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁				
		壁 長 (m)	—	4.35	(3.40) (3.34)				
		壁 高 (cm)	—	—	—				
		周溝 幅 (cm)	—	26	周溝なし 20				
周溝深さ (cm)		—	8	88	—				
平面形		床面積 約 (13.4) m ²	土軸方位 N-173°-E						
壁		検出されなかった。							
周 壁		北側、西側に巡る。東側は調査区域外で不明。							
ビ ッ ト		13個検出された。 主柱穴はP ₁ ~P ₂ と思われる。							
か ま ど		遺存状態 良好							
堆 積 土		42Hの火床面と隣り合うように31IIの火床面が検出された。 ソテーの一部が柱穴によって破壊されているが、煙道部、火床面の残りは良い。							
出土遺物		5層に分層された。褐色土を土体とし、ローム、焼土、炭化物粒を混入する。 人為堆積か自然堆積か不明。							
附属施設		土器一隻 須恵器一大甕							
出士遺物		カマド:土器一隻・杯、上製品							
掘立柱建物跡		掘立柱建物跡 1棟 外周溝 (162.163M) 土坑 (90.121.149+)							
小 結		31Hは42Hを拡張したものである。 図示した掘立柱建物跡は、42Hの図に示したものと同一である。 31H、42Hのどちらに伴うものかは不明。掘立部の拡張は認められない。							

掘 立 柱 部	規 模	桁行 2間 (総長3.32m-西) × 梁間2間 (総長2.08m-南)			
	平面形式	長方形を呈す南北建物跡である。(42Hに再載)北東隅は検出されなかった。			
	柱 穴	径 28cm~68cmの円形・梢円形の掘り方である。			
	深 さ	10cm~27cm			
柱間寸法		桁行 —3.32m(11尺 寸) 梁間 —2.08m(6尺9寸)			
出土遺物		なし			
小 結		堅穴部の面積 ((13.4) m ²) + 掘立柱部の面積 (7.1m ²) = 約20.5m ²			

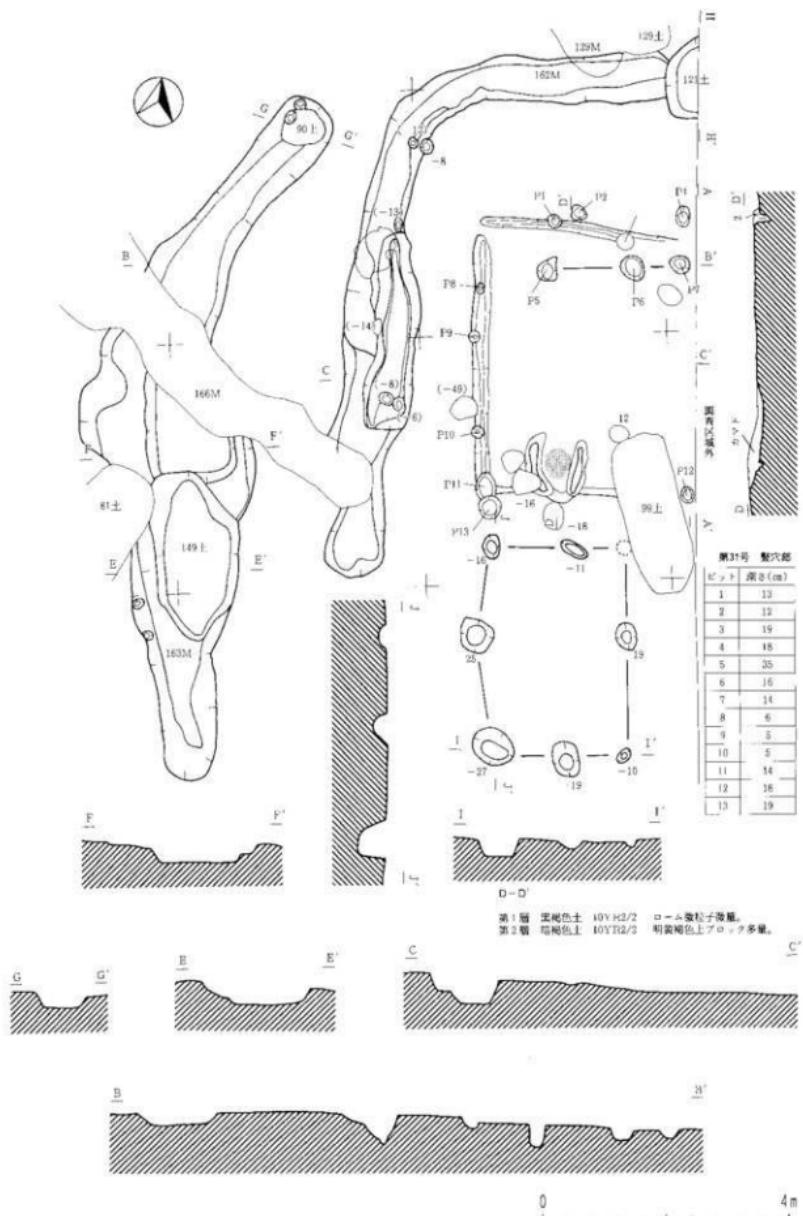
外 周 溝 ・ 固 M	規 模	長 さ 11.32m	上端幅 190~310cm	断面形	逆台~U字形
	深 さ	32cm	下端幅 32~80cm	傾 斜	南→北
	堆 積 土	セクション図は作成しなかった。 土層観察より、人為堆積と思われる。			
	出土遺物	堆積土-不明鉄製品 1点			
小 結		121十と連結する。			

外 周 溝 ・ 固 M	規 模	長 さ 9.24m	上端幅 280cm	断面形	逆台形
	深 さ	32cm	下端幅 32~80cm	傾 斜	北→中央←南
	堆 積 土	セクション図は作成しなかった。 土層観察より人為堆積と思われる。			
	出土遺物	堆積土-不明鉄製品 2点			
小 結		162Mに比べ、幅広で浅い。			

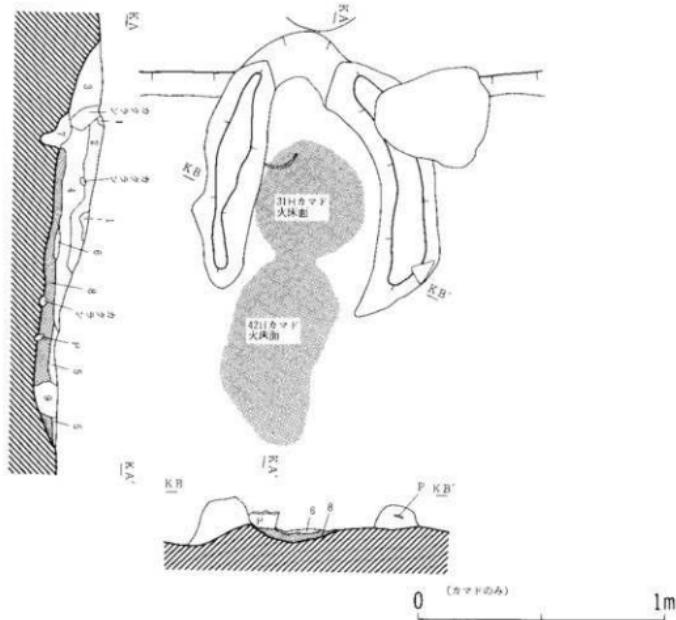
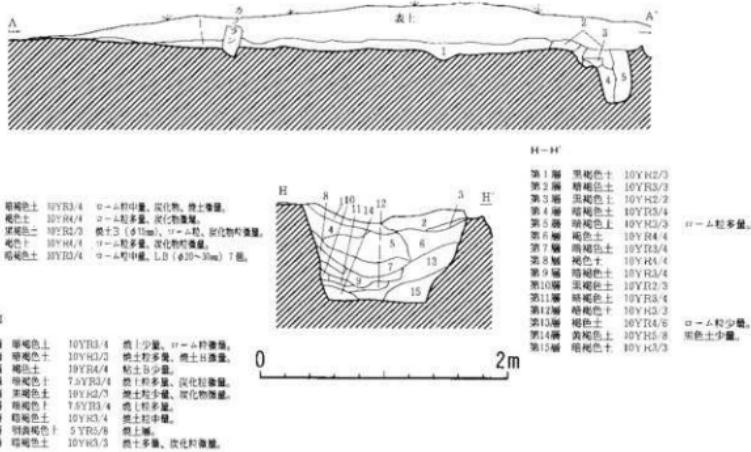
上 坑 ・ 堆 積 土	平面形	楕円形	壁	緩やかに立ち上がる	底面	平坦	
	規 模	長 軸	260cm	短 軸	135cm	深 さ	40cm
	堆 積 土	セクション図は作成しなかった。 人為堆積と思われる。					
	出士遺物	なし					
	小 結	163Mの一部である。					

土 坑 ・ 堆 積 土	平面形	円形	壁	直線的に立ち上がる	底面	平坦	
	規 模	長 軸	96cm	短 軸	80cm	深 さ	28cm
	堆 積 土	セクション図は作成しなかった。 人為堆積と思われる。					
	出士遺物	堆積土・土師器4					
	小 結	163Mの北端					

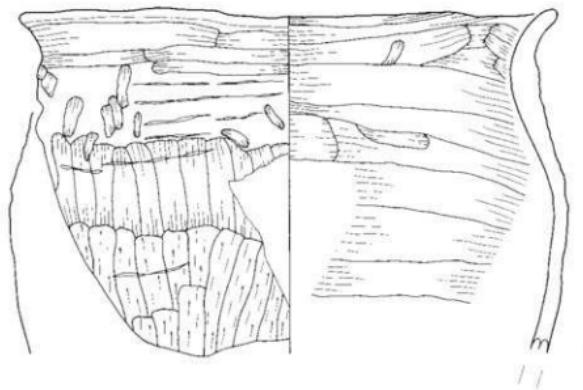
土 坑 ・ 堆 積 土	平面形	円形か	壁	緩やかに立ち上がる	底面	平坦	
	規 模	長 軸	132cm	短 軸	52cm	深 さ	28cm
	堆 積 土	15層に分層された。褐色土を主体とし、ローム粒子を混入する。 人為・自然堆積と思われる。					
	出士遺物	なし					
	小 結	(調査区域外に統くため、正確な平面形は不明)					



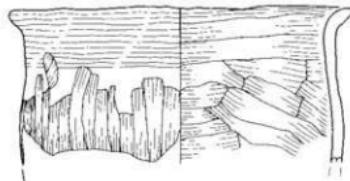
第V-6-(2)-11図 第31号建物跡(1)



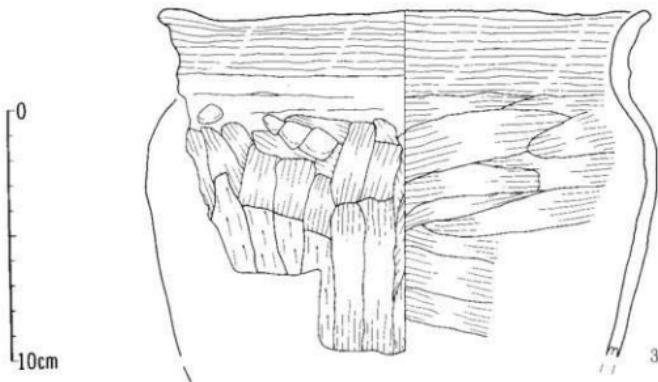
第V-6-(2)-12図 第31号建物跡(2)



1
11



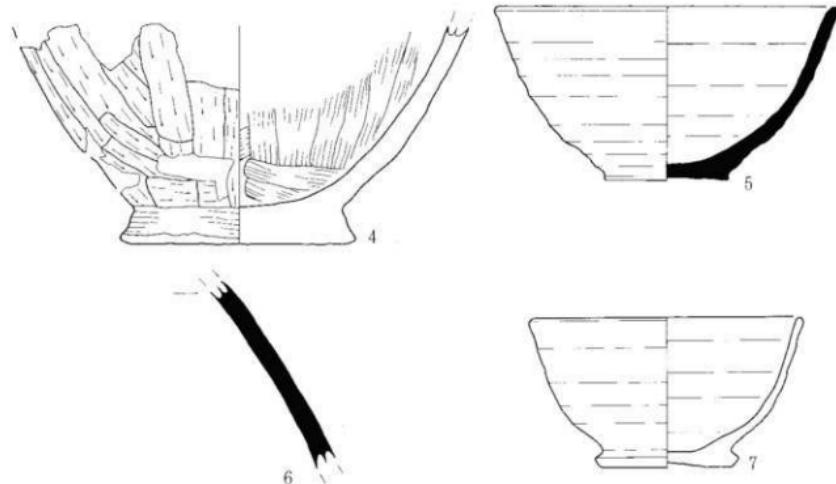
2
11



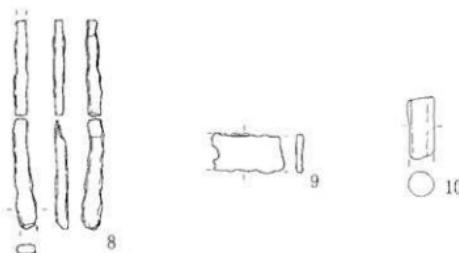
3
11

遺物 番号	種類	基種	出土位置	計測値 (cm)	外観 調査	内面 調査	底面 調査	分類	備 考	写真 番号
1	七面器	フク土	(21.8) (13.9)	ヨコナギ タケヅリ	ヘラナギ ヘラナギ					
2	“	カマド瓦 底、フコ	(14.0) (6.3)	“	ヘラナギ	ヨコナギ	“			
3	“	フク土	(20.0) 13.6	ヘラナギ ヘラナギ	“	“				

第V-6-(2)-13図 第31号建物跡出土遺物(1)



遺物 番号	種類	断面	出土位置	計測値(cm)	外周調整		内山調整		分類	備 考	石質 番号	
					口径	底高	底径	体高上半	体高下半	口径	底高	
4	土器器	縦 フク士		(8.7) (9.5)						ヘラゲン		
5	直筒器	縦		14.0 7.0 5.0	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	砂岩 帶丸
6	"	大型 フク士		(7.5)	平	行	四き目			当て具儀 (直筒状)	斜面切欠	粘土分析 - 3
7	土器器	縦	ISM	15.2 (11.2) 6.0 5.4	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	粘土分析 - 23 器形に正み



遺物 番号	種類	断面	出土位置	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(Kg)	特 徴	備 考	巣石 料力	整理 率%
8	鉄製品	不明	31H SUD183 轟能 陶土	85.0	9.0	1.0	4.1	軋か跡跡の懸拂か		△	23
9	"	"	"	29.0	16.0	3.0	3.0	先端を穿孔した跡あり 留金具か		○	94
10	土製品	-	31H カマド (F-1) 陶土	(25.0)	11.0	10.0	2.2	楕状 手づくね		■	13

0 10cm

第V-6-(2)-14図 第31号建物跡出土遺物(2)

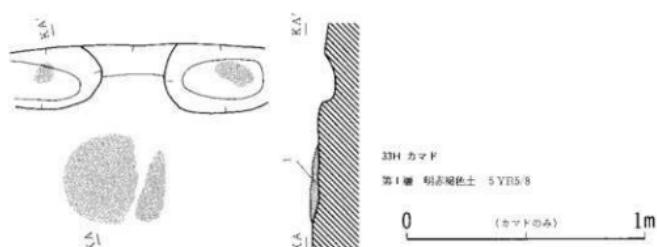
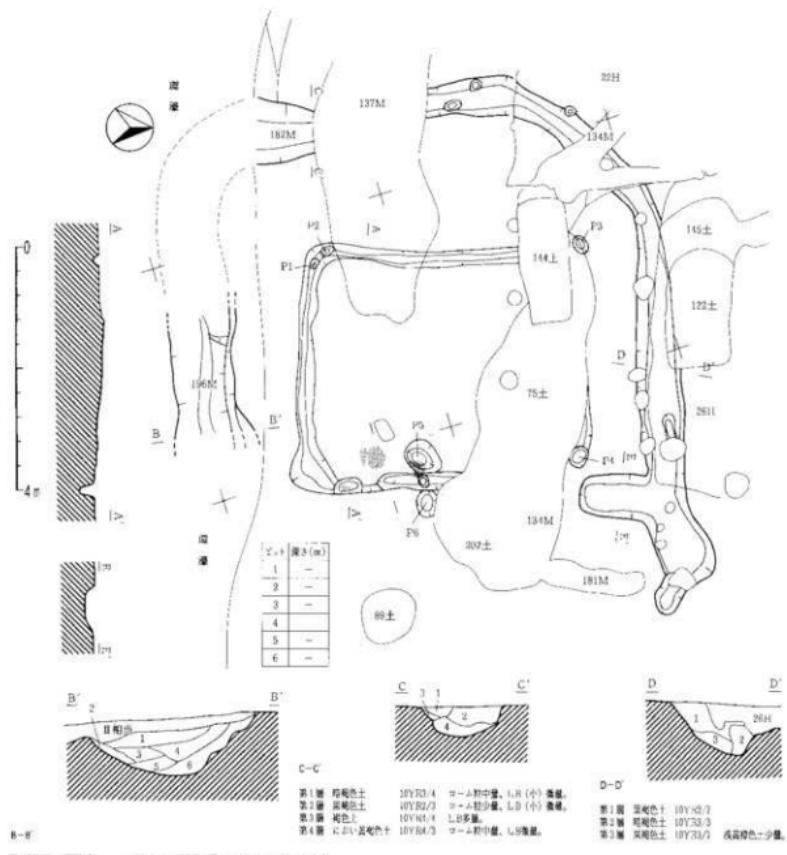
第33号建物跡観察一覧表

位置	G-9.H-7~10.I-8~9	図版番号	第V-6-(2)-15図	写真図版番号	22-6
重複関係	22H>26H>33H>120M(環濠) 181M>33H				

堅 壁 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁		
	壁 長 (m)	4.80	4.40	4.00		
	壁 高 (cm)	—	—	—		
	周溝 幅 (cm)	23	28	26		
	周溝深さ (cm)	24	12	25		
平面形	長方形	床面積 約 (14.4) m ²	主軸方位	N-95°-E		
壁	検出されなかった。			床 半坦		
周壁	北側は不明。他は全て巡る。					
穴	6個検出された。 主柱穴は、不明である。					
ビット	かまど					
かまど	遺存状態 不良	位 置	東壁の南寄りと思われる。			
部	火床面のみ検出された。					
堆積土	セクション図は作成しなかった。 土層観察より、人為堆積と思われる。					
出土遺物	なし					
附属施設	外周溝 (182.196M)					
備考	南外周溝 (196M) が、環濠 (120M) 堆積土中に一部検出された。					

外周溝・ M	規 模	長 さ 13.64m	上端幅 80cm	断面形 振鉢形
		深 さ 26~42cm	下端幅 20~80cm	傾 斜 南→北・東→南
堆積土				
3~4層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒を混入する。				
自然堆積と思われる。				
出土遺物 なし				
小 結 東末端は分岐する。				

外周溝・ M	規 模	長 さ 1.96m	上端幅 102cm	断面形 振鉢形
		深 さ 46cm	下端幅 8~24cm	傾 斜 西→東
堆積土				
6層に分層された。褐色土を主体とし、炭化物・ローム粒を混入する。				
自然堆積と思われる。				
出土遺物 なし				
小 結 環濠に設定したセクションベルト上面に検出したものである。				



第V-6-(2)-15図 第33号建物跡

第40号建物跡観察一覧表

位 置	F-12~14.G-12~15.H-12~14	図版番号	第V-6-(2)-16~17図	写真図版番号	22-7、8
-----	-------------------------	------	-----------------	--------	--------

重複関係 169M>40H>162M・29H・147土・30H・114土・163M・127土・31(42)H

堅 法 量	壁 高 周溝幅 周溝深さ	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁	
		壁 長 (m) (1.96)	—	—	—	
		壁 高 (cm)	—	—	—	
		周溝幅 (cm) 28	—	—	—	
平面形 壁		長方形か 検出されなかった。	床面積 約 (15.8) m ²	主軸方位 床	N-130°-E 不明	
周溝 東壁の一部のみ残存していた。						
穴 ビット	3個検出された。 主柱穴は不明。	遺存状態 不良				
	かまど	位 置 31日外周溝 (162M) の埋土上面に検出された。162Mの埋土の沈下に伴い、本カマドはやや歪んでいる。煙道部底面には底部を欠失した甕が1点出土した。				
部 堆積土	不明	出土遺物 カマド・石製品・鉄鍵車の一部 (?)、他1点: 上製品1点				
	附属施設	掘立柱建物跡 1棟 外周溝 (129.166M) 上 窑 (74.150上)				
小 結	削平が著しい。					

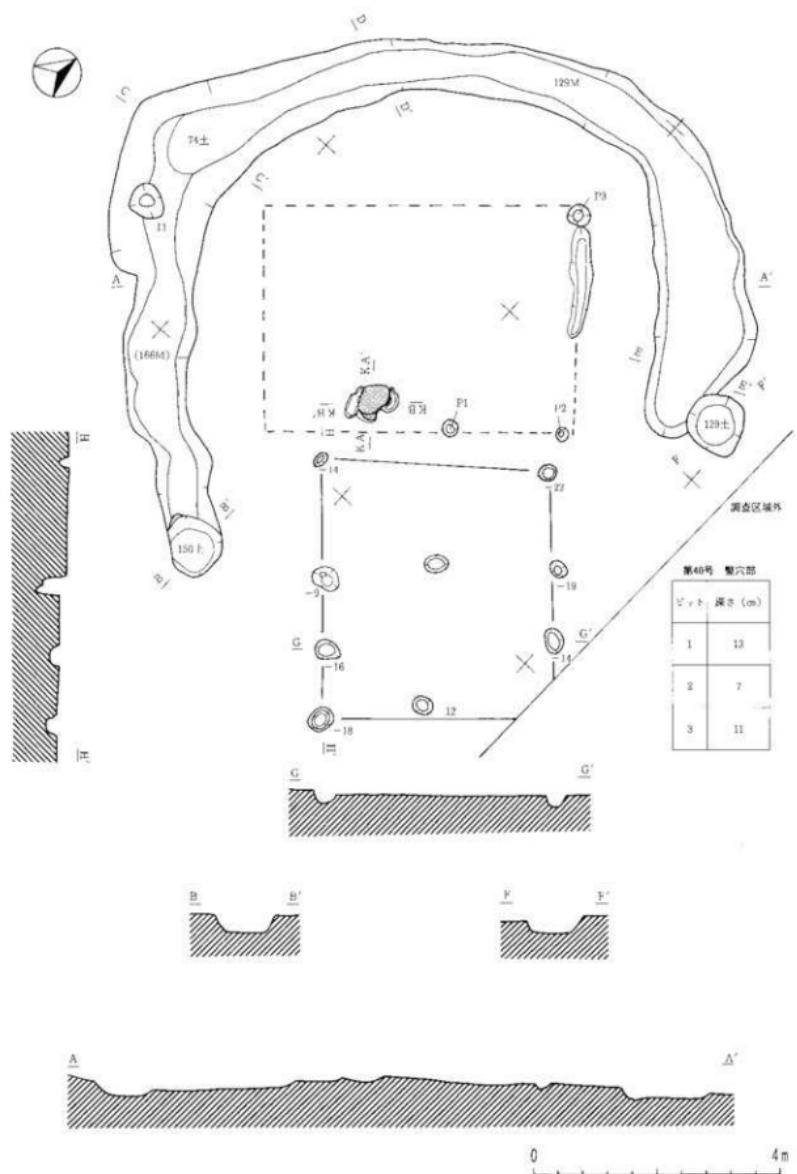
掘立柱部	規 模	桁行 3間 (総長4.28m-南) × 梁間 1間 (變長3.72m 西)
	平面形式	長方形を呈する東西棟建物跡である。
柱 穴	径	28cm~48cmの円形・楕円形の掘り方である。
	深 さ	16cm~48cmで、
柱間寸法	桁行	—4.28m (14尺1寸)
	梁間	—3.72m (12尺3寸)
出土遺物	なし	
	小 結	堅穴部の面積 ((15.8) m ²) + 掘立柱部の面積 (15.5m ²) = 約31.3m ²

外周溝・ 堆積土	規 模	長 さ 19.08m	上端幅 80cm	断面形 逆台形
	深 さ	32cm	下端幅 32~128cm	傾 斜 西→東
堆積土 5~6層に分層された。黒褐色土を主体とし、ローム粒・炭化物・焼土を混入する。自然堆積と思われる。				
出土遺物 なし				
小 結 土坑状のくぼみ (74上) 伴う。				

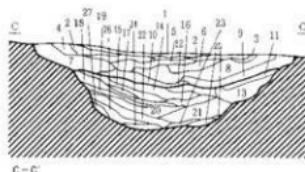
土 坑 ・ 湖 上	平 面 形	円形	壁	緩やかに立ち上がる	底 面	平坦
	規 模	長 軸 100cm	短 軸 80cm		深 さ	28cm
堆積土 セクション図は作成しなかった。						
出土遺物 なし						
小 結 129Mの南東端に位置する。						

土 坑 ・ 74 上	平 面 形	溝状(溝の一部)	壁	緩やかに立ち上がる	底 面	凹凸あり	
	規 模	長 軸	-	短 軸	200cm	深 さ	60cm
	堆 積 土	27層に分層された。黒褐色土を主体とし、火山灰・コーム粒・炭化粒を混入する。 自然堆積と思われる。					
	出 上 遺 物	堆積土-土師器34、須恵器4、織文土器18点					
	小 結	129Mの一部					

土 坑 ・ 129 上	平 面 形	円形	壁	緩やかに立ち上がる	底 面	平坦	
	規 模	長 軸	92cm	短 軸	92cm	深 さ	28cm
	堆 積 土	セクション図は作成しなかった。					
	出 上 遺 物	堆積土-土師器16、須恵器2点					
	小 結	129Mの東端に付隨する。					



第V-6-(2)-16図 第40号建物跡(1)

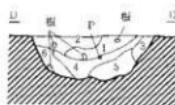


C-C

- | | | | |
|------|---------|------------|----------------------|
| 第1等 | 高褐色土 | 10YR 4/2 | 火山灰。炭化度高。ローム粒粗。 |
| 第2等 | 褐褐色土 | 10YR 4/2.5 | 大山灰层。炭化度中。ローム粒粗。 |
| 第3等 | 深褐色土 | 10YR 5/2 | 山灰层。炭化度中。ローム粒粗。 |
| 第4等 | 暗褐色土 | 10YR 5/2 | 山灰层。炭化度中。ローム粒粗。 |
| 第5等 | 深褐色土 | 10YR 5/2 | L.H.(ロ)ム粒少量。炭化度高。微量。 |
| 第6等 | 暗褐色土 | 10YR 5/2.5 | L.H.(ロ)ム粒少量。炭化度高。微量。 |
| 第7等 | 浅褐色土 | 10YR 5/2 | ローム粒少量。 |
| 第8等 | 土黄色土 | 10YR 5/3 | ローム粒少量。 |
| 第9等 | 暗褐色土 | 10YR 5/3 | ローム粒少量。炭化度高。微量。 |
| 第10等 | 褐褐色土 | 10YR 5/3 | ローム粒少量。炭化度高。微量。 |
| 第11等 | 暗褐色土 | 10YR 5/3.5 | L.H.(ロ)ム粒多量、炭化度微量。 |
| 第12等 | 深褐色土 | 10YR 5/4 | L.H.(ロ)ム粒少量。 |
| 第13等 | 深褐色土 | 10YR 5/4 | ローム粒中量。炭化度高。微量。 |
| 第14等 | 深褐色土 | 10YR 5/4 | ローム粒中量。炭化度高。微量。 |
| 第15等 | 在い青黄褐色土 | 10YR 5/4 | ローム粒中量。炭化度高。微量。 |
| 第16等 | 褐褐色土 | 10YR 5/4 | ローム粒中量。炭化度高。微量。 |
| 第17等 | 暗褐色土 | 10YR 5/4 | ローム粒中量。炭化度高。微量。 |
| 第18等 | 褐褐色土 | 10YR 5/4 | ローム粒中量。 |
| 第19等 | 暗褐色土 | 10YR 5/3 | ローム粒多量。 |
| 第20等 | 深褐色土 | 10YR 5/2 | ローム粒多量。炭化度少量。 |
| 第21等 | 深褐色土 | 10YR 5/2 | ローム粒少量。炭化度少量。 |
| 第22等 | 暗褐色土 | 10YR 5/2 | ローム粒少量。炭化度少量。 |
| 第23等 | 褐褐色土 | 10YR 5/2 | ローム粒少量。炭化度少量。 |
| 第24等 | 褐褐色土 | 10YR 4/4 | ローム粒少量。 |
| 第25等 | 深褐色土 | 10YR 5/2 | L.H.(ロ)ム粒多量、炭化度微量。 |
| 第26等 | 褐色土 | 10YR 4/4 | L.H.中量。 |
| 第27等 | 黄褐色土 | 10YR 5/6 | L.H.多量。 |

SF05 40Hカード

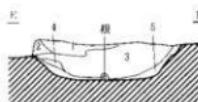
- | | | | |
|------|------|-----------|------------|
| 第1带 | 暗褐色土 | 5 Y5/3-4 | 化灰微湿。 |
| 第2带 | 黄褐色土 | 10Y5/5 | 稍干。 |
| 第3带 | 暗褐色土 | 10Y5/3-4 | 少少量、分化微湿。 |
| 第4带 | 暗褐色土 | 7.5 Y5/5 | 少—中量、分化极微。 |
| 第5带 | 暗褐色土 | 7.5 Y5/5 | 少—中量、分化极微。 |
| 第6带 | 暗褐色土 | 7.5 Y5/5 | 中量、分化中等。 |
| 第7带 | 褐色土 | 7.5 YR5/6 | 中量、分化中等。 |
| 第8带 | 褐黄色土 | 7.5 Y5/5 | 化灰微湿。 |
| 第9带 | 暗褐色土 | 7.5 Y5/5 | 化灰微湿。 |
| 第10带 | 暗褐色土 | 7.5 Y5/5 | 化灰微湿。 |
| 第11带 | 暗褐色土 | 10Y5/3-4 | 塑性、风化灰土带。 |



8-8

- | | | |
|-----|------|---------|
| 第1层 | 褐色土 | 10YR4/4 |
| 第2层 | 黑褐色土 | 10YR2/2 |
| 第3层 | 暗褐色土 | 10YR3/3 |
| 第4层 | 灰褐色土 | 10YR2/3 |
| 第5层 | 黑褐色土 | 10YR2/2 |
| 第6层 | 暗褐色土 | 10YR2/2 |

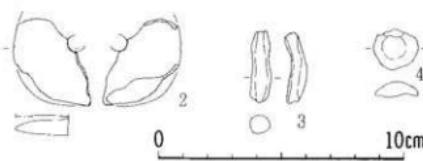
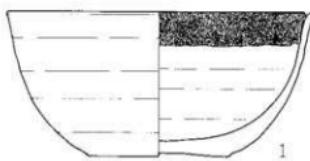
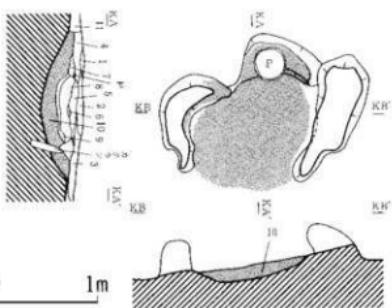
- ・ム粒多量、L.B(大)少量。燒土、炭化物、炭化程度強。
- ・ム粒多量、L.B(大)。炭化物少量、燒土強量。
- ・ム粒多量。燒土強、炭化粒微量。
- 炭化物、○・ム粒少量、燒土粒微量。
- ・ム粒中量、燒土、炭化物少量。
- ・ム粒中量、燒土、炭化物微量。



$$F = F'$$

- | | | | |
|-----|------|---------|-----------------------------|
| 第1番 | 暗褐色土 | 10YR2/3 | 炭化物。コーム粒少量。 |
| 第2番 | 暗褐色土 | 10YR4/3 | コーム粒中量。炭化物。L.B.(小)少量。塊状B微量。 |
| 第3番 | 暗褐色土 | 10YR2/3 | コーム粒中量。炭土。炭化物。L.B.(小)少額。 |
| 第4番 | 褐色土 | 10YR4/4 | コーム粒中量。炭土B微量。 |
| 第5番 | 黃褐色土 | 10YR5/6 | L.B.多量。暗褐色少額。 |

(C-C'、(1-1')、K-K' のみ) 2m



測定番号	種別	測量部位	長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重(g)	特徴	備考	機械	整理番号
2	石製品	10cmカド付覆土	35.0	31.0	7.0	5.2	粘土製 約半分損失 軟質の素材 一段引かず		01	
3	土製品	-10cmカド付ソゾ粘土中	29.0	8.0	7.2	1.3	砂状 手くね		14	
4	石製品	-10cmカド付覆土	(17.0)	19.0	6.0	1.0	粘土製 歪んだ半球形 一部欠損 一段引かず		15	

第V-6-(2)-17図 第40号建物跡出土遺物(2)

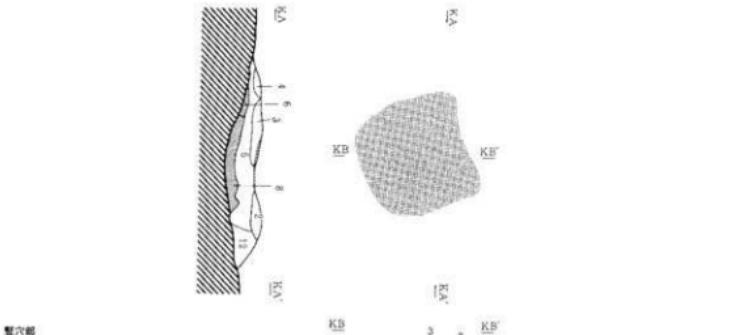
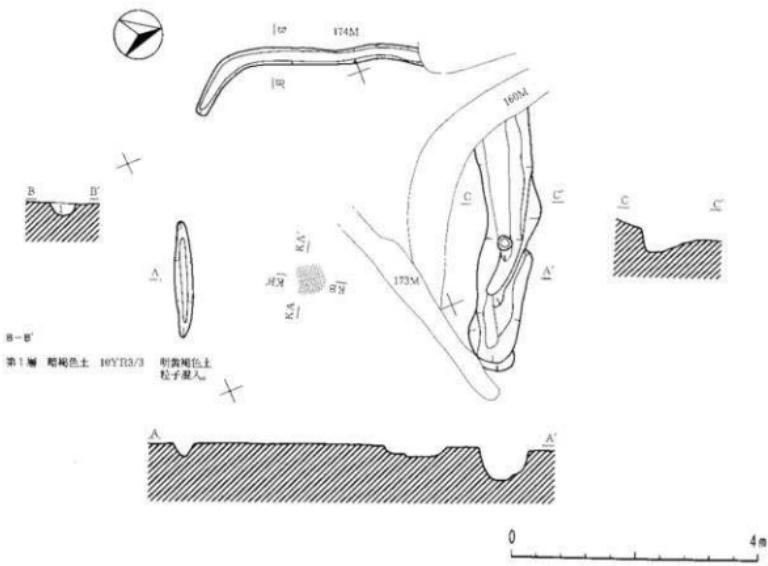
第41号建物跡観察一覧表

位 置	F-11.G-10~11.H-10~11	図版番号	第V-6-(2)-18図	写真図版番号
-----	----------------------	------	--------------	--------

重複関係	41H>26H
------	---------

堅 法 量	壁 高 周溝幅 周溝深さ	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁
		壁 長 (m)	—	—	—
		壁 高 (cm)	—	—	—
		周溝幅 (cm)	—	—	—
	周溝深さ (cm)	—	—	—	—
平面形		不明	床面積	不明	主軸方位 N-(108°)-E
壁		—		床	26Hの床を再利用している。
周 壁		—			
ピット		—			
かまど	遺存状態	不良	位 置	東壁の南寄りと思われる。	
	火床面のみ検出された。26Hの貼床をやや振り下げて構築される。				
堆 積 上		—			
出土遺物		—			
附属性設		外周溝(174M)			
小 結		26H内の焼上、炭化材等を除去し、26Hの床を再利用してつくられている。			

外 周 溝 ・ H	規 模	長 さ	9.84m	上端幅	24~88cm	断面形	U字形	
		深 さ	20~52cm	下端幅	8~24cm	傾 斜	西→東	
		1層に分層された。褐色土を主体とし、炭化粧を混入する。 自然堆積と思われる。						
		出土遺物						
		なし						
		小 結						
		26Hの堅穴部、外周溝のプランと平行させている。						



竪穴部

- | | | | |
|------|-------|----------|-------------------|
| 第1層 | 塗褐色土 | 7.5YR3/4 | 塗褐色土焼けている。 |
| 第2層 | 赤褐色土 | 5 YR8/8 | 粘土質の少々硬い、ローム粒混入。 |
| 第3層 | 赤褐色土 | 5 YR8/8 | 粘土質の少々硬い、燒土(削落土)? |
| 第4層 | 赤褐色土 | 5 YR4/6 | 燒土層。 |
| 第5層 | 暗褐色土 | 7.5YR3/6 | 燒土粒、炭化粒少々。 |
| 第6層 | 赤褐色土 | 5 YR5/6 | 燒土層。 |
| 第7層 | 暗褐色土 | 7.5YR3/4 | 燒土粒少々。 |
| 第8層 | 弱赤褐色土 | 5 YR5/6 | 燒土層。 |
| 第9層 | 褐色土 | 7.5YR4/6 | 粘土質。 |
| 第10層 | 深褐色土 | 10YR2/3 | 燒土粒、粘土粒、ローム粒混入。 |
| 第11層 | 暗褐色土 | 7.5YR3/3 | 燒土粒少々。 |
| 第12層 | 深褐色土 | 10YR2/3 | 燒土粒、粘土粒、ローム粒混入。 |

第V-6-(2)-18図 第41号建物跡

第42号建物跡観察一覧表

位 置	F-12~13.G-10~13	図版番号	第V-6-(2)-19図	写真図版番号
-----	-----------------	------	--------------	--------

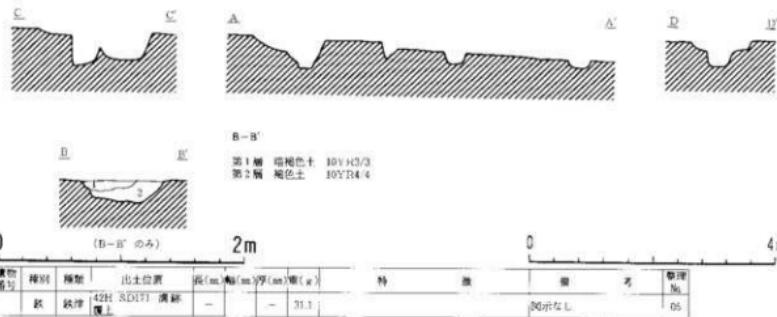
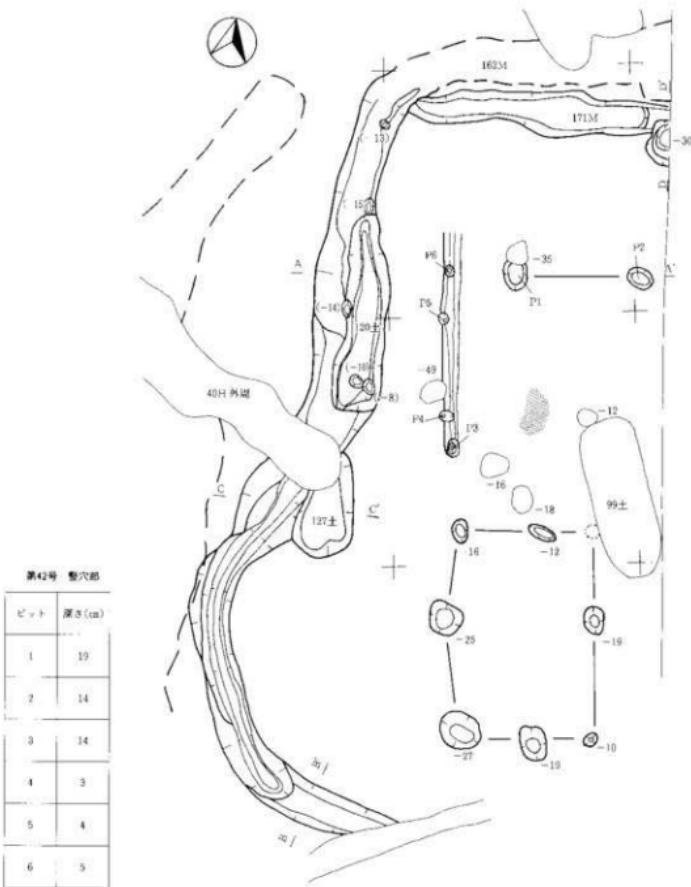
重複関係	31H>42H
------	---------

堅 穴 部	法 量	東 壁	西 壁	南 壁	北 壁	
		壁 長 (m)	—	(3.44)	—	
		壁 高 (cm)	—	—	—	
		周溝 幅 (cm)	—	26	—	
周溝深さ (cm)		—	28	—	—	
平面形		不明	床面積	約 (10.9) m ²	主軸方位 N-173°-E	
壁		検出されなかった。		床	31Mと同一と思われる。	
周溝		西側の一部が検出された。				
ピット		6個検出された。 主柱穴は、P ₁ ~P ₂ と思われる。				
かまど		遺存状態 不良		位 置	南壁の西寄りと思われる。	
かまど		火床面のみ検出された。31Hの構築時に破壊されたものと思われる。				
堆積土		火床面は31Hカマドの火床面と隣り合う第V-6-(2)-1図参照。				
出土遺物		なし				
附設施設		掘立柱建物跡 1棟		外周溝 (171M)		
		(31Hに記述)		土 坑 (127土)		
小 結		31Hは本建物を拡張したものである。 図示した掘立柱建物跡は、31Hの図に示したものと同一である。				
		31H、42Hのどちらに伴うものか不明。掘立部の拡張は認められない。				

外 周 溝 ・ 土 M	規 模	長 さ	18.32m	上端幅	12cm	断面形	逆台形	
		深 さ	3.6cm	下端幅	24~64cm	傾 斜	西→東	
		2層に分層された。褐色土を主体とする。						
		自然堆積と思われる。						
堆積土		堆積土-鉄砲 1点						
出土遺物								
小 結								

土 坑 ・ 13 土	規 模	平 面 形	不整二等辺三角形状	壁	直線的に立ち上がる	底 面	平坦	
		長 軸	316cm	短 軸	72cm	深 さ	48cm	
		セクション図は作成しなかった。						
		土層観察より、人為堆積と思われる。						
堆積土		堆積土-土器類38、須恵器1						
出土遺物								
小 結		171Mの一部						

上 統 ・ 12 土	規 模	平 面 形	不整椭円形	壁	直線的に立ち上がる	底 面	平坦	
		長 軸	168cm	短 軸	96cm	深 さ	40cm	
		セクション図は作成しなかった。						
		上層観察より、人為堆積と思われる。						
堆積土								
出土遺物		なし						
小 結		127土の箇所から追築したものと思われる。						



第V-6-(2)-19図 第42号建物跡

(3) 土 坑

環濠内地区からは12基の土坑が検出された。

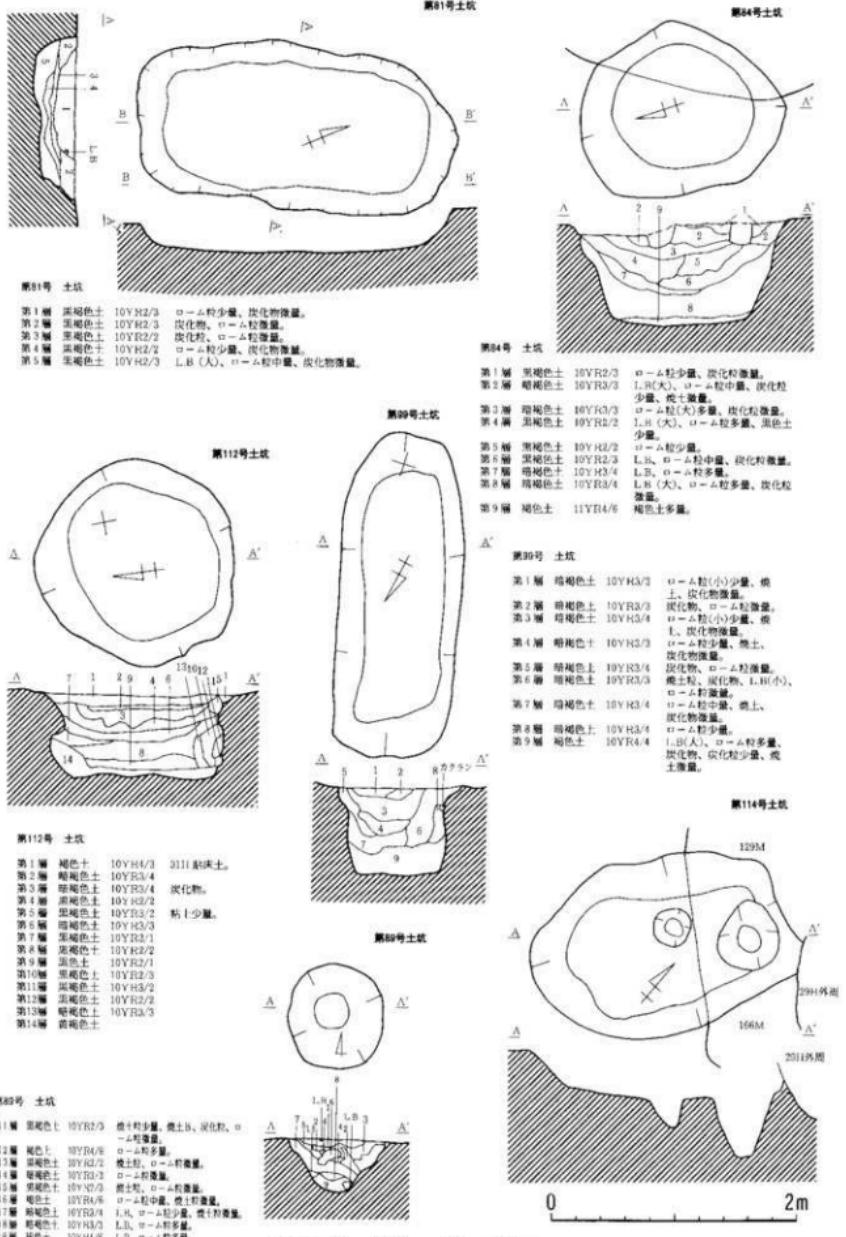
長方形を呈する土坑は比較的他の遺構よりも新しい傾向が伺える。

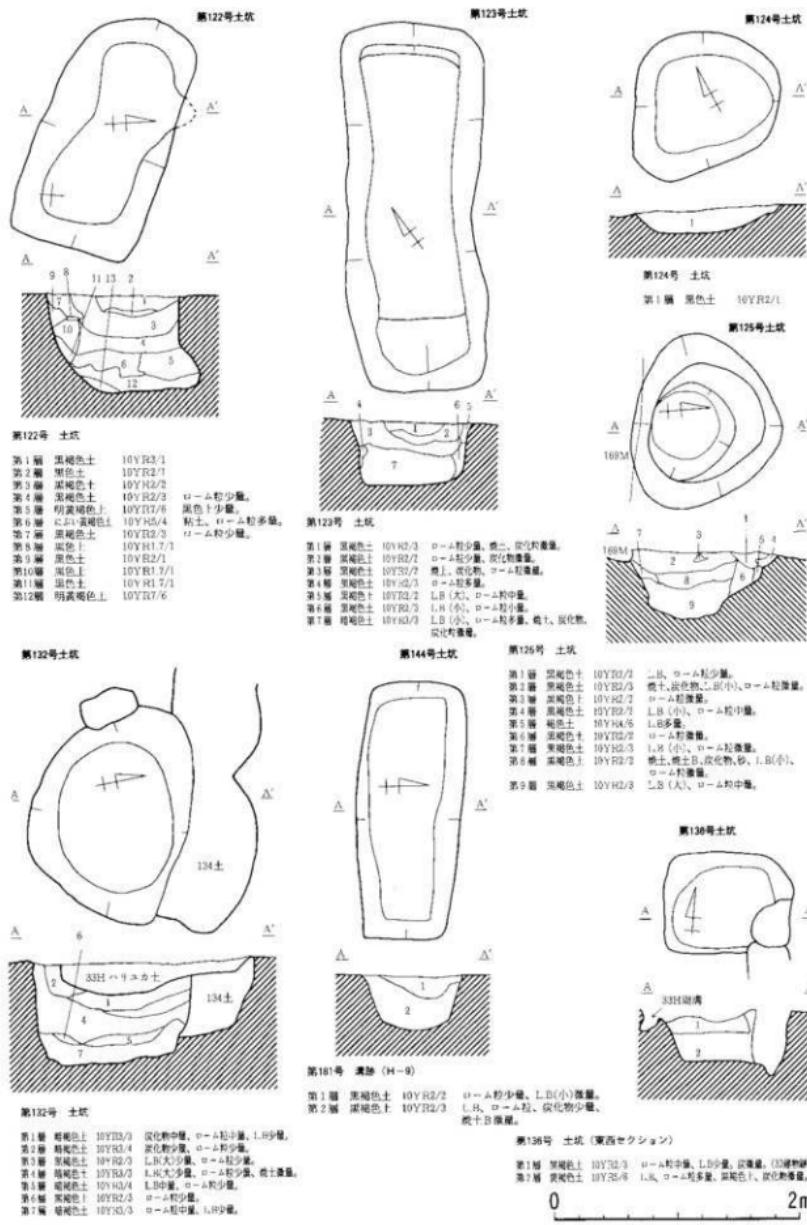
31Hの竪穴部の北西コーナーに検出された方形の土坑は、31Hの貼床下に検出されたものであるが、竪穴部のコーナーを意識しているかのような位置に検出されたため、一時的に31Hと共に存したものである可能性がある。

紙数の都合上、記載は観察表にまとめた。

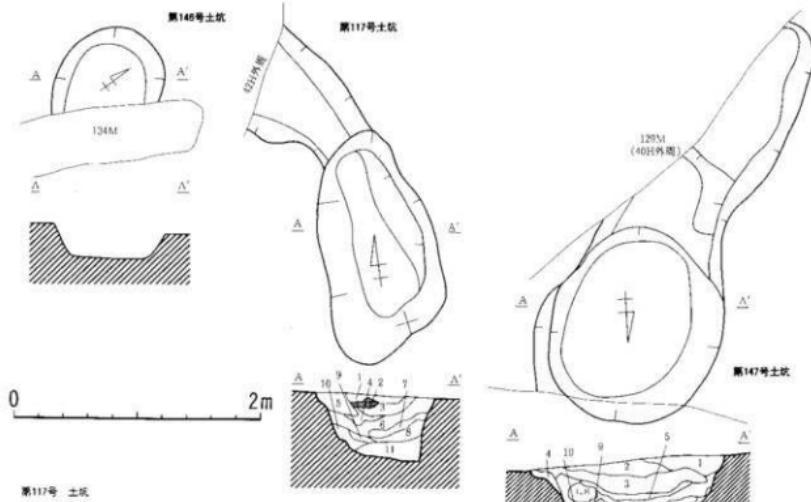
土 坑 観 察 表

固 体	土 坑番 号	位 置	重複関係		規 格		出 土 遺 物		考 収 事 備
			本 土 坑より新	本 土 坑より古	長 軸(cm)	短 軸(cm)	深さ(cm)	土 坑番号	
1	第081号土坑	H-12		SD06, SD16, SK81	325	155	40	9	1
1	第084号土坑	H-12	SK681		166	136	80	8	-
1	第085号土坑	G-8	なし		110	95	55	-	鉄斧1
1	第099号土坑	H, F-12, 13			325	125	85	25	-
1	第112号土坑	H, F-12, 13	31H		210	195	85	20	3
1	第114号土坑	H-13	SD129+SK74		208	138	38	-	-
3	第117号土坑	F, G-12			185	93	49	10	-
2	第122号土坑	G, H-9, 10		26H, SK145	260	135	95	12	1
2	第123号土坑	F-8, 9			375	190	65	14	2
2	第124号土坑	F-10			130	113	18	1	1
2	第125号土坑	F-15	SD169		135	110	53	27	-
2	第132号土坑	F-12	31H	SK134	205	160	100	78	4
2	第136号土坑	E-13			199	100	55	-	-
2	第144号土坑	H-9		26H外周溝, 33H	260	110	55	-	田181溝跡
2	第146号土坑	H-11	134M (26H外周溝)		115	80	30	-	-
3	第147号土坑	H-14, G-14, 15	129M		200	175	70	-	田163溝跡と一体





第V-6-(3)-2図 土坑2

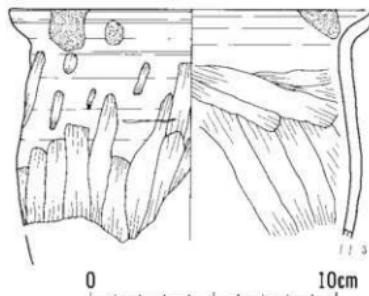
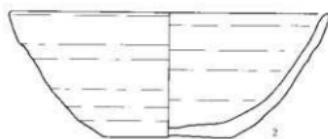
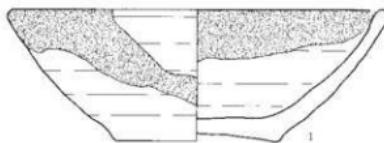


第117号土坑

第1層 黒褐色土 10YR2/2 粘土粒少量。ローム粒微量。
第2層 黒褐色土 10YH2/2 泥山灰。ローム粒中量。粘土微量。
第3層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量。炭化物微量。
第4層 暗褐色土 10YR2/2 粘土粒少量。ローム粒微量。
第5層 三褐色土 10YH2/2 粘土粒、ローム粒小量。
第6層 黑褐色土 10YR2/2 粘土粒中量。泥土、炭化物少量。
第7層 黑褐色土 10YR3/3 泥山灰。L.B. 少量。
第8層 黑褐色土 10YH2/3 ローム粒中量。粘土少量。
第9層 黑褐色土 10YR2/1 ローム粒微量。
第10層 黑褐色土 10YR2/2 泥化物。ローム粒少量。L.B. 多量。
第11層 黑色土 10YR2/1 ローム粒中量。L.B. 少量。

第168号溝跡

第1層 黒褐色土 10YH2/3 ○ - ム少量。炭化物微量。
第2層 暗褐色土 10YR3/4 □ - ム少量。炭化物、礫上微量。
第3層 黒褐色土 10YH2/3 □ - ム少、L.B. 小量。L.B. 中量。炭化物微量。
第4層 黒褐色土 10YH2/2 □ - ム粒、L.B. (大) 多量。炭化物微量。
第5層 黑褐色土 10YR3/4 □ - ム粒、L.B. (大) 少量。炭化物微量。
第6層 暗褐色土 10YR2/3 □ - ム粒 (大)、L.B. (A) 多量。炭化物、块土微量。
第7層 黒褐色土 10YR2/2 □ - ム粒。L.B. (小) 少量。炭化物微量。
第8層 褐色土 10YH4/6 □ - ム粒多量。
第9層 暗褐色土 10YR2/3 □ - ム粒。L.B. 多量。炭化物微量。
第10層 明黄色褐色土 10YR8/6 L.B. 多量。



遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値(cm)	外 面 測 容			内 面 測 容			前面測定 分類	裏 方	写真 番号
					口径	基高	底径	幅厚	体積上平	体積下平			
1	土器	杯	125上 フタ付	(15.6) 5.7 6.6	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	一次焼成、油燃	
2	土器	环	132上 フタ付	(13.0) 5.0 5.2	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	あわい褐色	
3	土器	甌	135下 フタ付	(14.8) (9.2)	ロクロ	ロクロ	ヘラナダ	ヘラナダ	ロクロ	ヘラナダ		二次加熱、黑色	

第V-6-(3)-3図 土坑3

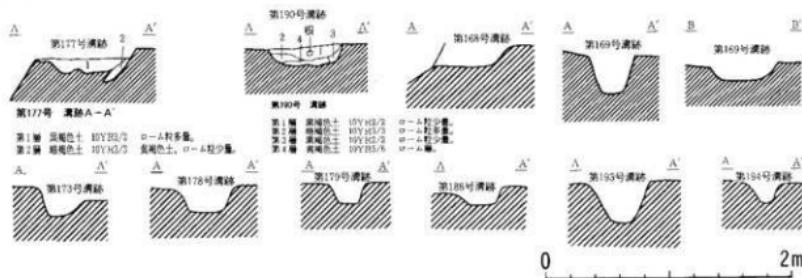
(4) 溝跡

10条の溝跡が検出された。第178号溝跡からは、近世磁器が出土しているため、環濠が構築された時期とは大きく隔たるものである。

紙数の都合上、記載は観察表にまとめた。

溝跡観察表

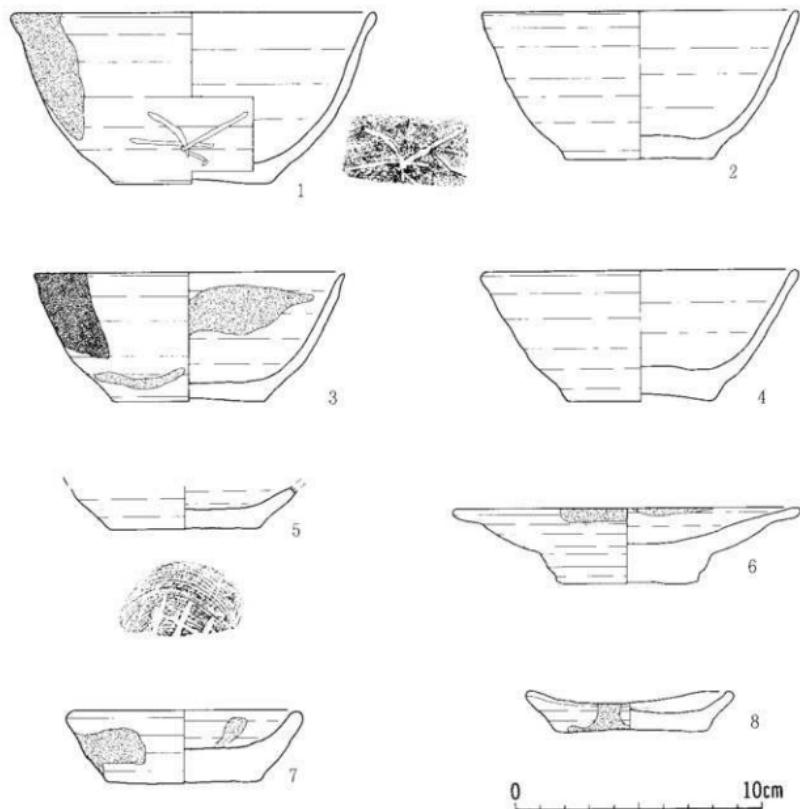
溝跡番号	位 置	実 测 間 隔			幅 (m)	断面形	種類	出土遺物 土器・瓦・瓦敷面・その他	特 記 事 項
		本溝跡より前本溝跡より右長さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)					
第169号溝跡	G-14～G-15	169M	—	(3.5)	156	58	U字形	S7 Z	
第169号溝跡	F-14～H-16	129± 125±	188M (13.8)	75	29	U字形	北→東 北→東	13 1	121Mと接続か
第173号溝跡	F-10～G-11	25H	167M (2.8)	45	23	U字形	西→東	22	— 土製品
第177号溝跡	G-12	167M	(4.2)	70	11	不整形	北→南	6	—
第175号溝跡	F-9～G-10	26H孤立	5.2	45	21	逆V形	西→東	9	壁落 近世
第179号溝跡	F-10	—	—	1.2	35	15	逆V形	西→東	—
第188号溝跡	G-10	—	—	0.8	35	17	U字形	西→東	—
第190号溝跡	I-9～J-9	25H	(2.2)	60	16	箱形	西→東	—	—
第193号溝跡	G-12～G-13	167M	(3.1)	55	33	逆V形	西→東	—	—
第194号溝跡	F-10	124±	(1.7)	20	17	U字形	西→東	—	—



0 1 2 m

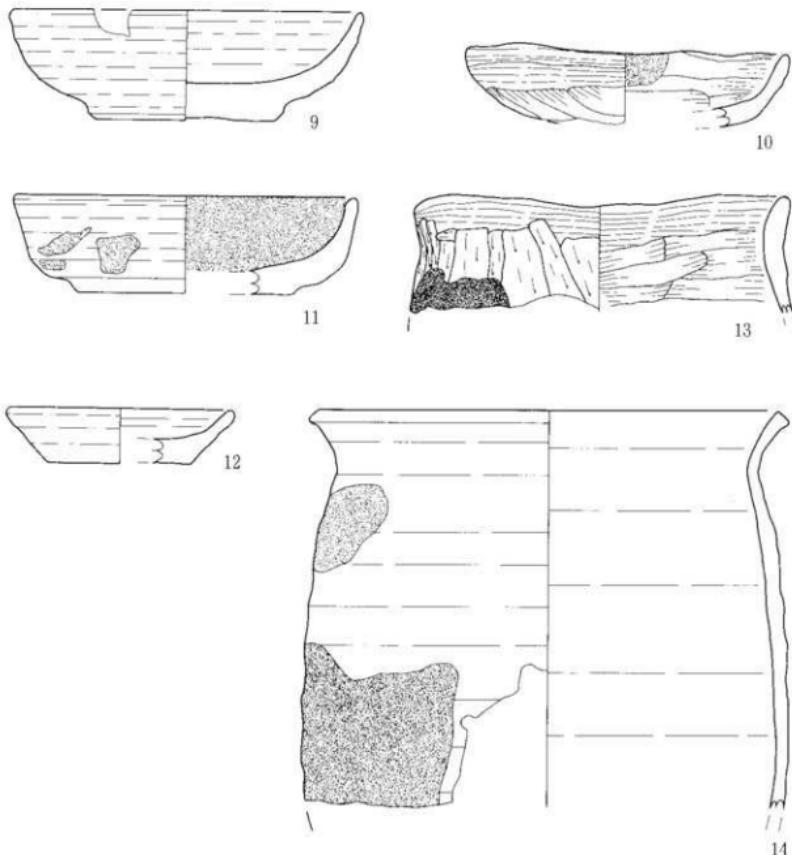
遺物 番号	種別	種類	出土位置	長(m) 幅(cm) 厚(cm)	重(g)	特 徴	考 察	施成 年
1	土製品	瓦片	SD173 溝跡・覆土	28.0 12.0 9.0	24	黒色の焼成 瓦形欠損 1枚	壁落	11

第V-6-(4)-1図 環濠内地区検出溝跡・出土遺物



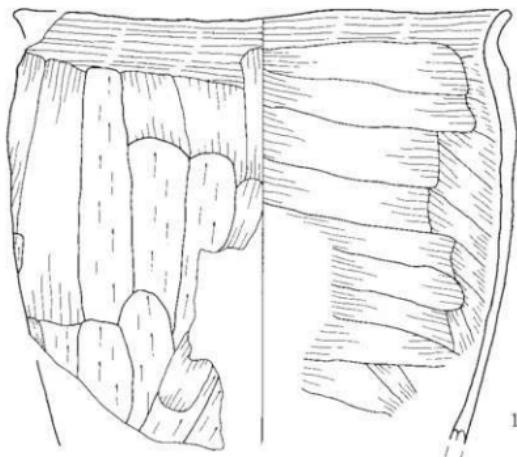
遺物名	種類	基準	出土位置	計測値(cm)	外観		内部構造		正面調整	分類	備考	石器等
					上径	下径	弧長	底面				
1 土師器 环	环	M-17 1		15.0 6.9 6.6	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	穴焼成、ヌス村著 ラ吾記号	
2 土師器 环	环	N-16 1		12.8 6.0 6.0	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	ハクリ	
3 土師器 环	环	M-N-16 (12.0) 1		5.1 6.2	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	一次焼成、ハクリ ヌス(高鍋)付着	
4 土師器 环	环	J-95 1		(12.9) 5.2 6.0	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	櫛耗	
5 十字器 环	环	N-15 1		(1.7) (6.0)		ロクロ			ロクロ	回転系切	盤面へき書記号	
6 上師器 盒	盒	?		(14.1) 3.0 5.2	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	ヌス付着 粉土焼成	
7 上師器 盒(かわらけ)	盒	K-19 ?		9.6 2.9 6.4	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	二次焼成 ヌス(高鍋)付着	
8 土師器 盒(かわらけ)	盒	?		8.4 1.6 6.0	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	回転系切	ヌス付着	

第V-7-(1)-1図 遺構外の出土遺物(1)

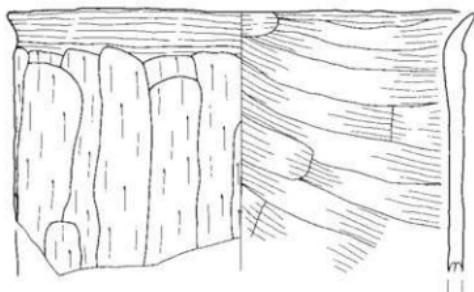


遺物番号	種類	基種	出土位置	計測値(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	板面調整	分類	備 考	万古 番号
9	土師器	皿(かわ G-9 H-11)	(6.5)	(14.4) 4.4 (8.0)	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ	目輪余切	
10	土師器	皿(かわ J-1)	(5.0)	(13.1) 2.6	ヨコナデ ヨコナデ	ヨビナデ ヨビナデ	ヨコナデ ヨビナデ	ヨビナデ ヨビナデ	炭化物付着	
11	土師器	皿(かわ N-16 J-1)	(14.0)	3.9 (8.8)	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ	目輪余切	
12	土師器	皿(かわ J-46 1)	(9.3)	2.2 (5.3)	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ	炭化物付着	
13	土師器	盤?	(5.0)	15.3 (4.7)	ヨコナダ ヨカズラ	ヨコナダ ヨカズラ	ヨコナダ ヨカズラ	ヨコナダ ヨカズラ	スス村着	
14	土師器	盤 L-58 1	(19.0)	(16.0) 10.0	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ ロクロ	ロクロ	一次焼成	
									一次焼成、スス村着 化粧板上	

第V-7-(1)-2図 遺構外の出土遺物(2)



15

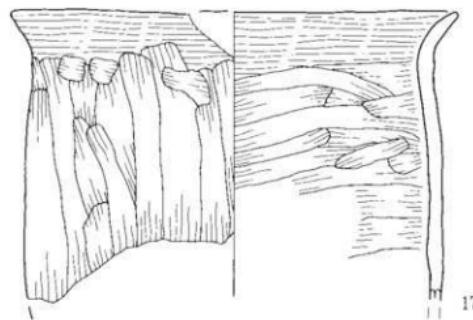


16

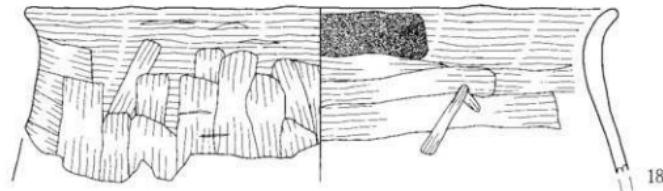
0 10cm

遺物 番号	種類	石標	出土位置	計測値(cm)	外面調査	内面調査	底面調査	分 類	備 考	写 真 番号
15	上部器 甕	L-18	(20.1)	(17.0)	ヨコナタ ヘラナタ	ヨコナタ ヘラナタ	ヨコナタ ヘラナタ	-	-	
16	土防器 甕	G-11	(19.0)	(10.4)	ヨコナタ ヘラナタS	ヨコナタ ヘラナタ	ヨコナタ ヘラナタ	-	-	

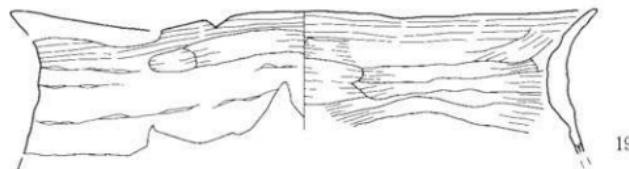
第V-7-(1)-3図 遺構外の出土遺物(3)



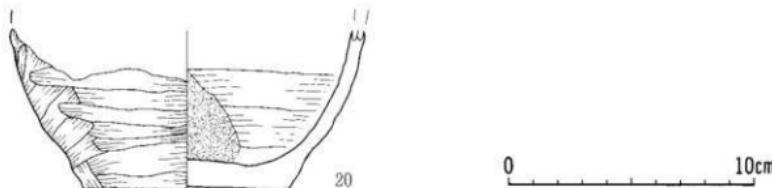
17



18



19

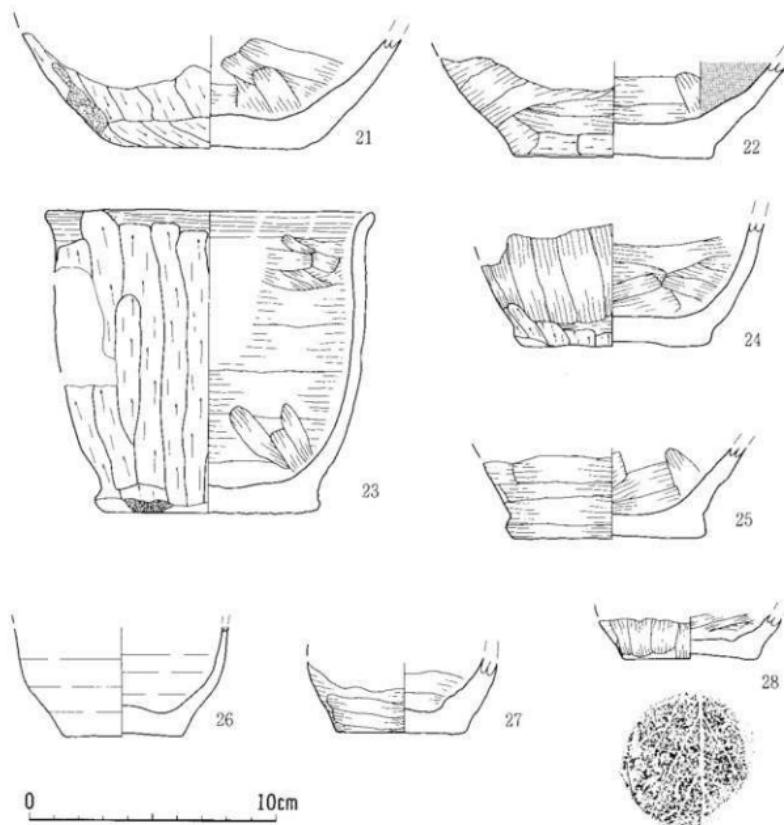


0

10cm

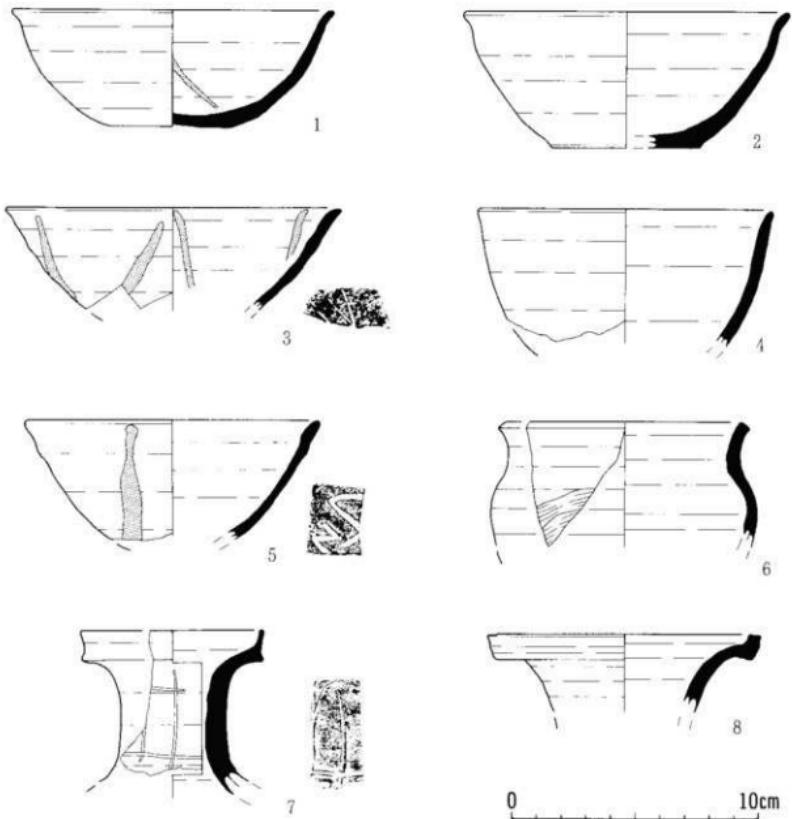
遺物 番号	種類	表面	出土 位置	計測値 (cm)	外面調整	内面調整	底面測定	分量	備 考	写真 番号
17	土器部	裏	?	(18.0) 11.6	ヨコナデヘラナデ	ヨコナデヘラナデ				
18	土器部	裏	N-451 (12.0) (6.6)		ヨコナデヘラナデ	ヨコナデヘラナデ			ハクリ	
19	土器部	裏	?	(23.7) 5.7	ヨワナデヘラナデ	ヨコナデヘラナデ				
20	土器部	裏	?	(6.4) 8.2		ヘラナデ		砂紙	二次焼成、炭化物付着	

第V-7-(1)-4図 遺構外の出土遺物(4)



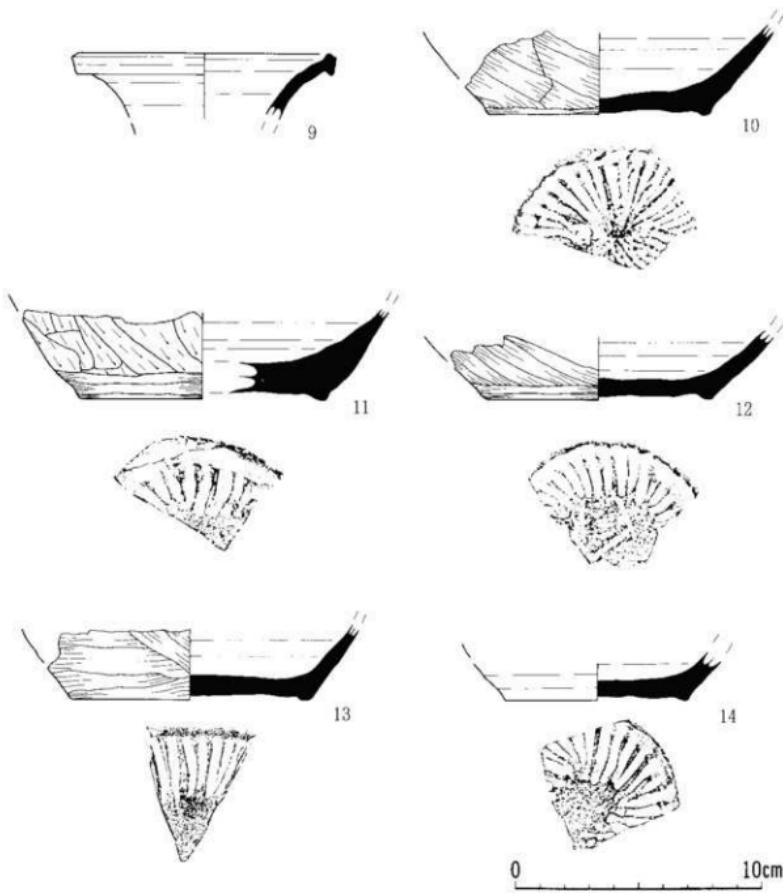
遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値 (cm)	外 周 長	内 山 深	底	式面調整	分類	備 考	写真 番号
21	土器	甕	?	(4.5)	7.2		ヘラナデ		壺形	粗粒土	
22	土器	盆	G-47 I	(3.9)	8.0		ヘラナデ		二次焼成、壺形	内面黒色化粧	
23	土器	小口甕	?	(13.7)	12.5	8.1	ヨコナデ ヘラナデ	ヨコナデ ヘラナデ ヘラナデ	壺形	砂利	
24	土器	小型甕	M-3-3	(4.9)	8.0		ヘラナデ	ヘラナデ ヘラナデ	二次焼成		
25	土器	甕	O-17	(3.6)	7.8		ヘラナデ	ヘラナデ	砂利	二次焼成、沿跡	
26	土器	小型甕	K-17	(4.4)	4.9		ロクロ	ロクロ	壺形	粗粒土	
27	土器	甕	?	(2.8)	5.0		ヘラナデ	ユビナデ ヘラナデ	壺形		
28	土器	小型甕	?	1.7	5.5		ヘラナデ	ヘラナデ	木裏腹		

第V-7-(1)-5図 遺構外の出土遺物(5)



遺物番号	種類	出土位置	計測値(cm)	外部調整	内部調整	底面調整	分類	備考	写真番号
1 須恵器 环	M-18 (13.0)	口横	(5.0)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	大ダスク柄 ヘラ蓋記号
2 須恵器 环	K-93 (12.4)	3.5	(6.0)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	胎分析-79
3 須恵器 环	L-22 (13.6)	(4.1)		ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	大ダスク柄 ヘラ蓋記号
4 須恵器 环	G-25 (32.0)	(5.5)		ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	
5 須恵器 环	D-94 (12.0)	(4.9)		ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	大ダスク柄 ヘラ蓋記号
6 須恵器 枝	N-16 (10.2)	(5.0)		ロクロ	ハナチ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	
7 須恵器 氏顕	H-44 (6.4)	(6.4)		ロクロ		ロクロ			ヘラ蓋記号
8 須恵器 氏顕	M-6 (11.1)	3.1		ロクロ		ロクロ			

第V-7-(2)-1図 遺構外の出土遺物(6)

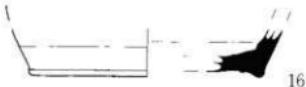


遺物 番号	種類	基種	出土位置	計測値 (cm)	外 面 製 作		内 面 製 作		直面調整 分類	備 考	写真 番号
					ロクロ	ヘラナダ	ロクロ	ヘラナダ			
9	須恵器	長筒型	1+3-7	(10.7)	2.6		ロクロ		ロクロ		
10	須恵器	長筒型	?		(3.3) (9.0)		ヘラナダ		ロクロ	菊花文	ハクリ。自然釉付着
11	須恵器	長筒型	K-13		(3.5) (9.9)		ヘラナダ	ヘラナダ	ロクロ	菊花文	
12	須恵器	長筒型	W-31		(2.5) (9.1)		ヘラナダ		ロクロ	菊花文	ハクリ。自然釉付着
13	須恵器	長筒型	N-18		(2.6) (9.5)		ヘラナダ		ロクロ	菊孔文	灰白色
14	須恵器	長筒型	M-88		(1.5) (7.3)		ロクロ		ロクロ	菊花文	

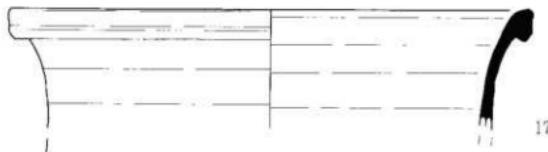
第V-7-(2)-2図 遺構外の出土遺物(7)



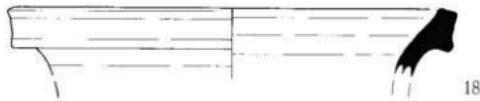
15



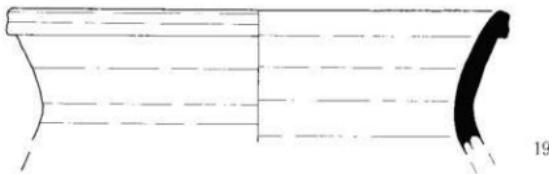
16



17



18

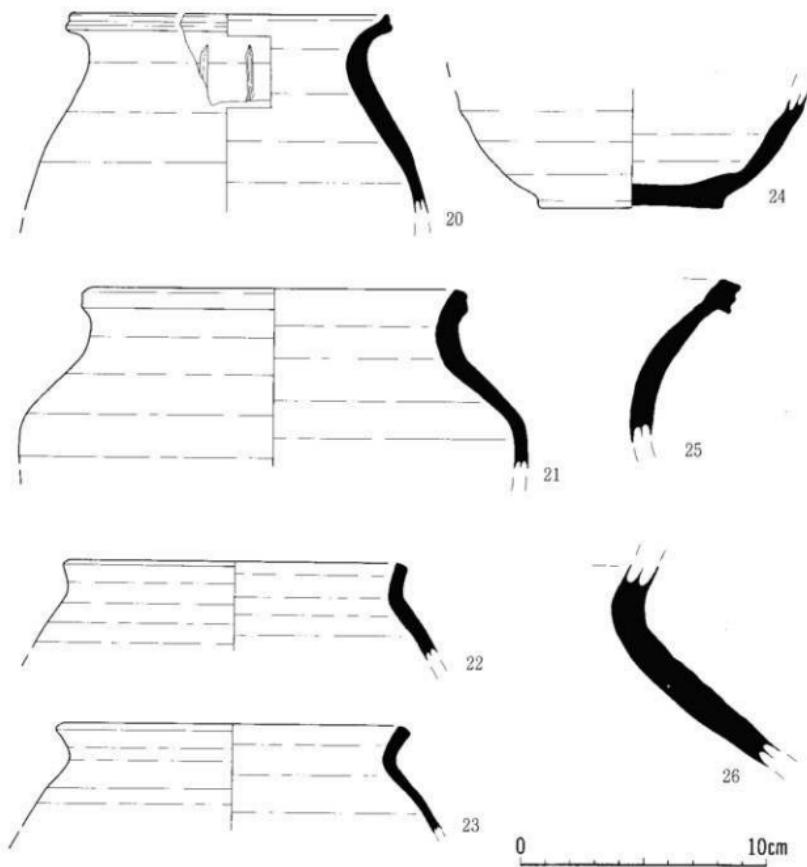


19

0 10cm

遺物 番号	種類	器種	出土位置	計測値(cm)	外面調査		内面調査		正面調査 分類	備考	写真 番号
					口径	高さ	底径	口縁	体部上半	体部下半	
15	須恵器	長盤	I-42	(1.4) (6.8)				ロクロ		ロクロ	菊文
16	須恵器	長盤	M-56, 27, 1	(1.9) (9.4)				ロクロ		ロクロ	菊文
17	須恵器	豆皿	I-30	(21.2) 4.7	ロクロ			ロクロ			自然釉付青
18	須恵器	豆皿	G-6	(29.2) (5.2)	ロクロ			ロクロ			熱土分析 78
19	須恵器	豆皿	N-17	(38.2)	ロクロ			ロクロ			自然釉付青

第V-7-(2)-3図 遺構外の出土遺物(8)



遺物 名	種類	器種	出土位置	計測値(cm)	外 面 調 査		内 面 調 査		式面調査	分 類	備 考	測定 基準
					口径	高さ	横幅	縦幅				
20	須恵器	短縄盃	K-2 J-16	12.8 (7.9)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ヘニコ型	自然釉目有
21	須恵器	短縄盃	F-22 J-16	(15.6) (7.1)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ		
22	須恵器	短縄盃	N-16 G-37	(14.0) (14.4)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ		
23	須恵器	短縄盃	J-17 N-17 1	(4.8) (6.5)	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	ロクロ	粘土分析	-80
24	須恵器	短縄盃	N-17 1	(4.8)			ロクロ		ロクロ	ロクロ	自然釉付着灰色	
25	須恵器	大型	1-43 1	(7.8)	ロクロ			ロクロ				
26	須恵器	大型	1-43 1	(7.8)	ロクロ	印捺目	格子状	當て貝殻 (?)	ロクロ	ロクロ	短縄盃?	

第V-7-(2)-4図 遺構外の出土遺物(9)

(3) 土製品

遺構外からは 3 点の土製品が出土した。いずれも土玉である。

遺構内出土のものは、胎土が緻密で、黒色に焼成されるものが比較的多いが、遺構外のこれら 3 点で黒色に焼成されるものは認められない。3 には途中穿孔の孔が認められる。

遺物番号	種別	種類	出土位置	長(㎜)	幅(㎜)	厚(㎜)	重(g)	特徴	備考		焼成%	整埋%
									寸法	寸法		
1	土製品	土玉	I-84 Ⅲ	11.5	10.5	9.0	9.9	焼成前穿孔	20.0	1.5	良好	0.1
2	土製品	土玉	M-26, 27 Ⅰ	13.5	12.5	10.5	1.5	歪んだ球状、焼成前穿孔か			較良	1.2
3	土製品	土玉	N-24 Ⅰ	16.0	15.5	12.0	2.8	深褐色、不整球状、片側二つの孔、上一つは非貫通、焼成前穿孔			良好	0.4

第 V-7-(3)-1 図 遺構外の出土遺物 (10)

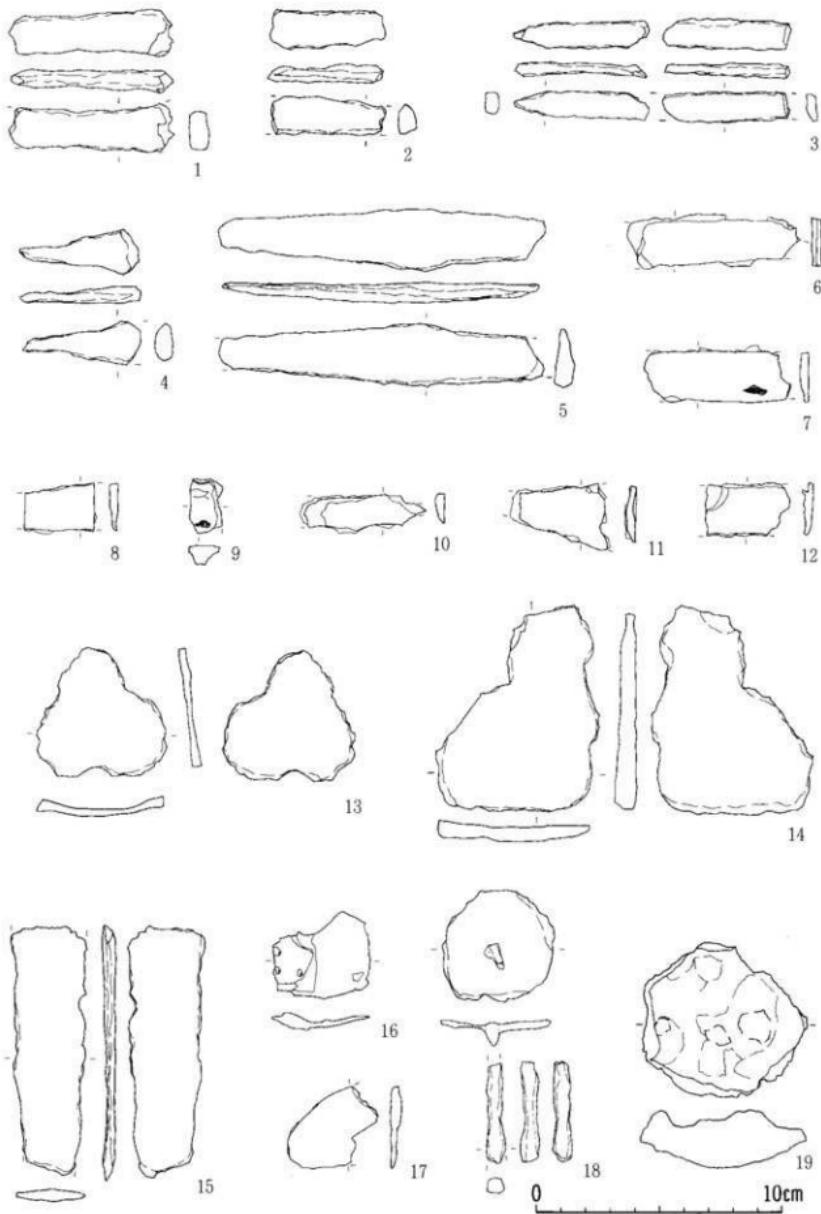
(4) 鉄製品

遺構外から出土した鉄製品は 18 点あり、出土地点が不明な 2 点を除き、出土層位はすべて I 層である。分布傾向としては、調査区域の G～L ライン、84～93 ライン上に集中している。特に第 2 号建物跡が検出された上層に集中している傾向が窺える。

以下、種類ごとに遺物の概要を説明する。

刀子は 9 点出土した。全て茎部・刃部とも欠損している為、詳細は不明である。比較的刃部の残りは良いが、闇の不明瞭なものが多い。4 を除いて磁石の付着力が強いことから、平安時代よりやや新しい時代が想定される。鎌は 2 点出土している。15 は基部若しくは刃部が直線的な形状であり、大型の鎌であると思われる。17 は先端が丸みを帯びているが摩滅によるものかどうか不明である。また、磁石の付着力が強いため、平安時代よりやや新しい年代が想定される。注目すべき点は、鍋の一部と思われるものが 2 点出土していることである。2 点とも第 2 号建物跡竪穴部上層からの出土で、14 の一部に面取りしたような跡がみられる。吊金具と思われるもの (9・10) は幅・厚みともほぼ同じであり、同一個体と思われる。紡錘車は 1 点出土している。第 16 号建物跡出土のものより一回り小さいが形状からみて平安時代のものである可能性は高い。鉄滓は総数 25 点あり、因みに遺構内出土のものは 6 点である。出土層位は全て I 層からで、総重量は 1315.8g である。楕円形の鉄滓 1 点 (19) のみ図示し、その他の鉄滓は写真報告とした。

遺物番号	種別	種類	出土位置	直(㎜)	幅(㎜)	厚(㎜)	重(g)	特徴	備考	組合せ	整埋%	
1	鉄製品	刀子	L-88	1	68.0	20.0	9.0	16.9	基部・刃部とも欠損 闇なし	(2 H の付近)	○	12
2	鉄製品	刀子	O-17	1	48.0	17.0	9.0	10.5	基部・刃部欠損 闇なし		○	25
3	鉄製品	刀子	H-27	1	108.0	13.0	6.0	17.6	基部欠損 肉が見られない		△	27
4	鉄製品	刀子	M-89	1	50.0	19.0	8.0	6.4	刃先残存		×	29-1
5	鉄製品	刀子	J-20	1	131.0	26.0	8.0	37.0	刃先・基部欠損 明瞭な闇なし	分組実測	○	32
6	鉄製品	刀子	L-40	1	70.0	19.0	4.0		刃部		○	09-2
7	鉄製品	刀子	L-40	1	60.0	22.0	3.0	29.6	刃部 木質部残存	直(84-1～8-3)の付近	○	09-1
8	鉄製品	刀子	J-06	1	28.0	20.0	3.5	2.8	刃部残存		○	13
9	鉄製品	刀子	不明	1	22.0	14.0	7.0	6.1	刃先具か 先端が直線	直(84-1～8-3)の付近	×	12-1
10	鉄製品	刀子	不明	1	51.0	15.5	4.0		9と同一個体か		×	12-2
11	鉄製品	刀子	H-30	1	41.0	26.0	4.5	7.1	刃先か 刃先残存		○	10
12	鉄製品	刀子	K-25, 27	1	35.0	21.0	4.0	5.0	刃部欠損か		○	08
13	鉄製品	刀子	M-89	1	52.0	53.0	8.0	19.2	刃の根元か 厚さ約 1mm	横(1-2-3-4-5-6)	○	26
14	鉄製品	刀子	M-89	1	83.0	67.0	9.0	62.6	刃の根元か 厚さ約 1mm	横(1-2-3-4-5-6)	×	29-2
15	鉄製品	鎌	L-87	1	101.0	32.0	6.0	37.2	基部・刃部欠損 刃部が直線的	分組実測	○	20
16	鉄製品	鎌	L-40	1	39.0	35.0	5.5		一辺斜材付か 厚さ約 1mm		○	09-3
17	鉄製品	鎌	E-05	1	37.0	32.0	4.5	8.4	刃先残存 先端が丸みを帯びる		○	11
18	鉄製品	鎌	G-84	1	47.0	47.0	-	15.7	小鍔部に直角溝有り 逆張り(逆張りは直角) 会長不明		×	28
19	鉄製品	鎌	L-04	1	-	-	-	74.8	網型		-	18



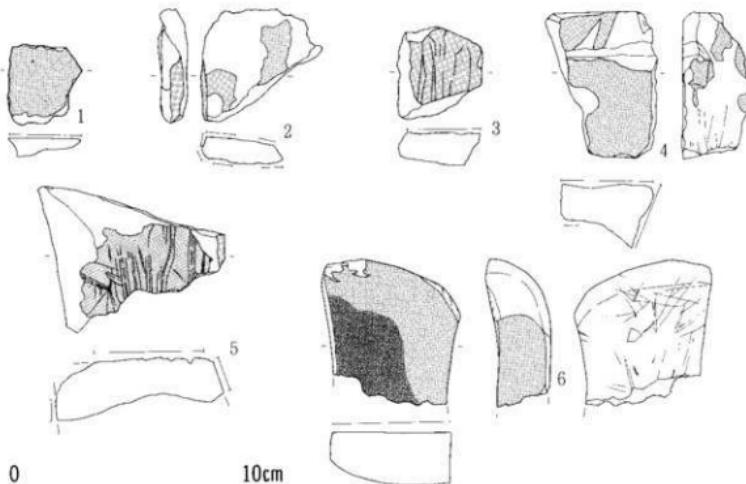
第V-7-(4)-1図 遺構外の出土遺物(11)

遺物番号	種別	種類	出土位置	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	特　　徴	備　考	整理番号
—	鉄	鉄片	D-94 I	—	—	—	10.2	圓示なし	07	
—	鉄	鉄片	D-94 II	—	—	—	51.0	圓示なし	08	
—	鉄	鉄片	D-94 I	—	—	—	9.0	圓示なし	09	
—	鉄	鉄片	D-94 I	—	—	—	2.1	圓示なし	10	
—	鉄	鉄片	F-05 I	—	—	—	5.0	圓示なし	11	
—	鉄	鉄片	I-09 I	—	—	—	32.2	圓示なし	12	
—	鉄	鉄片	I-29 I	—	—	—	13.9	圓示なし	13	
—	鉄	鉄片	I-30 I	—	—	—	13.5	圓示なし	14	
—	鉄	鉄片	K, L-41 I	—	—	—	62.7	圓示なし	15	
—	鉄	鉄片	K, L-41 I	—	—	—	56.0	圓示なし	16	
—	鉄	鉄片	K-26.27 I	—	—	—	97.1	圓示なし	17	
—	鉄	鉄片	M-96 I	—	—	—	5.3	圓示なし	18	
—	鉄	鉄片	M-96 I	—	—	—	5.1	圓示なし	19	
—	鉄	鉄片	M-06 I	—	—	—	31.9	圓示なし	20	
—	鉄	鉄片	M-26.27 I	—	—	—	138.0	圓示なし	21	
—	鉄	鉄片	N, O-45 I	—	—	—	16.1	圓示なし	22	
—	鉄	鉄片	N-26.27 I	—	—	—	10.0	圓示なし	23	
—	鉄	鉄片	不明 I	—	—	—	87.2	圓示なし	24	
—	鉄	鉄片	不明 I	—	—	—	—	圓示なし	25	

(5) 石製品

遺構外からは6点の石製品が出土した。いずれも砥石で全て欠損している。

1~5は細粒凝灰岩製、6のみ細流砂岩製である。溝状擦痕の認められるものが多い。



0 10cm

遺物番号	種別	種類	出土位置	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重(g)	特　　徴	備　考	整理番号
1	石製品	砥石	K-26.27 I	32.0	30.0	8.0	5.7	細粒凝灰岩、砥面1面、4と同一個体か		02
2	石製品	砥石	G-85 II	44.0	49.0	12.0	12.2	細粒凝灰岩、砥面2面		07
3	石製品	砥石	M-34 I	37.0	35.0	13.0	13.0	細粒凝灰岩、砥面1面、裏面に溝状の擦痕多く、S-D120番地-7と同一母岩か		08
4	石製品	砥石	M-44 I	59.0	46.0	28.0	36.6	細粒凝灰岩、砥面4面、薄状の砥面あり、1上と同一個体か		04
5	石製品	砥石	O-22, 23 I	53.5	71.0	20.0	60.7	細粒凝灰岩、砥面3面、裏面に溝状の擦痕多く、赤色擦れ7箇所に付着		10
6	石製品	砥石	P-23 -	59.0	56.5	26.5	59.5	細粒砂岩、砥面4面、裏面に溝状の擦痕多く、欠損		05

第V-7-(5)-1図 遺構外の出土遺物(12)